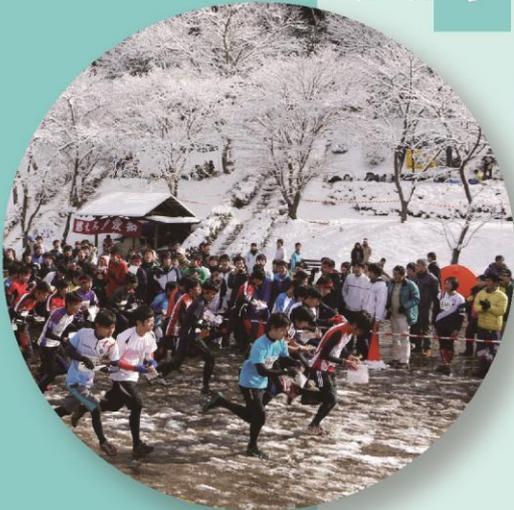




中津川市スポーツ推進計画

～みんな元気 健康スポーツのまち～

「スポーツで人と地域が
かがやくまちなかつがわ」



「いきいきと輝け健康 なかつがわ」



平成27年3月
中津川市



はじめに

スポーツで人と地域が かがやくまち を目指して



スポーツは、多くの人に感動や楽しみ、活力をもたらす世界共通の創造的な文化活動の一つであり、私たちの「こころ」と「身体」の健全な発達を促すものであるとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に大きく関与するものです。また、スポーツ活動は、次代を担う青少年の健全育成や働く世代の健康づくり、高齢者の体力づくりや健康増進を図るものです。更には、福祉・医療費の抑制や地域コミュニティの形成と活性化を促進するなどの役割も期待されています。

本市では、『かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる 中津川』の将来都市像の実現に向け「中津川市総合計画」を策定しており、スポーツに関する基本目標を『人々がかがやくまち 中津川』と掲げ、国・県の計画との整合性を図り『スポーツで人と地域が かがやくまちなかつがわ』を基本理念として、「中津川市スポーツ推進計画」を策定しました。また、本年合併 10 周年を迎えるにあたり「健康都市なかつがわ宣言」を行いました。『自らの健康は自らがつくる』を基本に、市民の皆様が、スポーツに関わることを通じて生涯にわたり健康でいきいきと心豊かに暮らしていけるまちづくりを推進します。

本計画では、“スポーツ”の定義を、競技としてのチャンピオンスポーツなどの「するスポーツ」や観戦などの「みるスポーツ」及び、コーチ・審判・スポーツボランティアなどの「ささえるスポーツ」のほか、楽しく身体を動かすレクリエーションスポーツや体力の維持増進を目的とした運動やウォーキングまでのすべてを“スポーツ”として捉え、それぞれのライフステージに合わせた身近なスポーツ活動への取組みや世代間を超えたコミュニティスポーツ活動などを通して、市民のスポーツ実施率の向上を目的としております。

この計画が、今後のスポーツ推進を図るうえでの指針となり関係諸団体はもとより、広く市民の皆様にご理解をいただき、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力賜りました「中津川市スポーツ推進計画策定委員会」委員の皆様方をはじめ貴重なご意見をいただきました関係諸団体様、計画策定の基礎となりました「スポーツに関するアンケート調査」にご協力いただきました市民の皆様方に厚く御礼申し上げます。

平成 27 年 3 月

岐阜県 中津川市長 青山 節児

中津川市スポーツ推進計画

【平成27年度～平成38年度】

－ 目 次 －

第1章 計画の策定にあたって	1
1. 現代社会におけるスポーツの意義.....	1
2. 計画策定の趣旨.....	2
第2章 計画の概要	3
1. 計画の位置づけと他の計画等との関わり.....	3
2. 計画の期間.....	6
3. 計画で扱う“スポーツ”の定義.....	7
第3章 中津川市の現状と課題	8
1. スポーツ活動に関する現状.....	8
2. スポーツ指導者・関係団体に関する現状.....	17
3. スポーツと地域の関わりに関する現状.....	23
4. スポーツ施設に関する現状.....	27
5. 情報提供に関する現状.....	30
6. 今後のスポーツ推進に向けた課題.....	31
第4章 計画の基本的な考え方	33
1. 基本理念・数値目標.....	33
2. 基本方針.....	34
3. 施策体系.....	35
第5章 具体的施策の展開	37
基本方針1 生涯にわたるスポーツ活動の推進.....	37
基本方針2 スポーツを通じた地域づくりの推進.....	46
基本方針3 スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実.....	50
第6章 計画の推進に向けて	57
1. 計画の推進体制.....	57
2. 計画の評価及び見直し.....	57
資料編	58
1. 計画の策定経緯.....	58
2. 計画の策定体制.....	59
3. アンケート調査票.....	60

第1章 計画の策定にあたって



1. 現代社会におけるスポーツの意義

近年、我が国では、情報化やグローバル化の進展に伴って国際的な協力・交流が活発になる一方で、少子高齢化や市民の価値観・ライフスタイルの多様化によって、地域社会の空洞化や人間関係の希薄化が進んでいます。

また、平成23年3月に発生した東日本大震災は、多くの人命を奪うとともに、国民生活に未曾有の大きな被害をもたらしました。現在も復旧・復興が大きな課題となっていますが、復興には全国から多くのボランティアが参加し、各地では義援金活動が行われるなど、「社会の絆」の重要性が改めて認識されました。

このような社会環境の中では、次代を担う子どもたちが他者との協働や公正さと規律を学びながら健全に育つこと、人々が生きがいを持ち、健康で長寿を享受できること、そして、人々が深い絆で結ばれた地域社会が健全であり続けることが重要です。

“スポーツ”は、体力の向上やストレスの解消などの心身の健康増進につながるだけでなく、年齢や性別、障がいの有無、言葉や生活習慣の壁を越え、お互いを認め、尊重し合うことにも貢献します。また、スポーツに懸命に打ち込む姿や大きな目標を達成した姿などは、観るものにも感動や興奮をもたらし、スポーツへの関心を高めるだけでなく、そういったアスリートを輩出した国や地域への愛着や誇りを育みます。

このように、心と身体の健全な発達を促し、人生をより充実したものとするとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に寄与するものとして、“スポーツ”に大きな期待が寄せられています。



2. 計画策定の趣旨

本市では、これまで、個人、団体等が自主的なスポーツ活動を推進するための支援や施設の充実を図るとともに、スポーツ活動を通じた地域コミュニティづくりを進めてきました。

また、市民のそれぞれのライフステージにおけるスポーツ活動の推進、障がい者のスポーツ活動推進のための環境の充実、総合型地域スポーツクラブの支援など、“一市民1スポーツ”による健康づくりに努めてきました。

こうした中、国は、平成22年8月に「スポーツ立国戦略」を策定、平成23年6月には「スポーツ振興法」を50年ぶりに改正し、新たに「スポーツ基本法」を制定しました。同法では、“スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利である”などの基本理念が示され、この基本理念に基づき、スポーツに関する施策を策定し、実施することが国、地方公共団体の責務であると定められました。この規定に基づき、国は平成24年3月に「スポーツ基本計画」を策定しました。

一方、岐阜県は、平成7年に「ぎふスポーツ振興計画」を策定し、平成12年、平成17年に改正を行いながら、“スポーツ王国・ぎふ”の実現を目指してきました。現行計画の目標年次が平成26年度であったこと、国の「スポーツ基本計画」が策定されたことを受け、新たに「清流の国ぎふスポーツ推進計画」が策定されます。また、「清流の国ぎふスポーツ推進計画」の策定に先立ち、“輝け はばたけ 誰もが主役”の合言葉のもとに開催されたぎふ清流国体・ぎふ清流大会を機に、平成25年3月には、スポーツによる地域の絆づくり、青少年の健全育成、生涯スポーツの推進といきいきと生活する社会づくり、障がい者スポーツの推進、スポーツ選手育成などの、スポーツに関する幅広い取り組みを総合的かつ計画的に推進していくことを目的とした「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」を施行しています。

これらを踏まえ、本市では国や県の計画を参酌し、これまでのスポーツ推進の取り組みを継続・充実させるとともに、スポーツを通じて、市民一人ひとりが健康で幸せに暮らせるまちをつくるために、「中津川市スポーツ推進計画」を策定することとしました。

本市においても、地域内や世代間のつながりの希薄化、核家族化の進行等による地域社会での孤立化などが地域の課題として挙げられています。こうした中、市民のスポーツ活動を推進することで、市民一人ひとりの心と身体の健全な発達を促し、人生をより充実したものとするとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成を実現していきます。

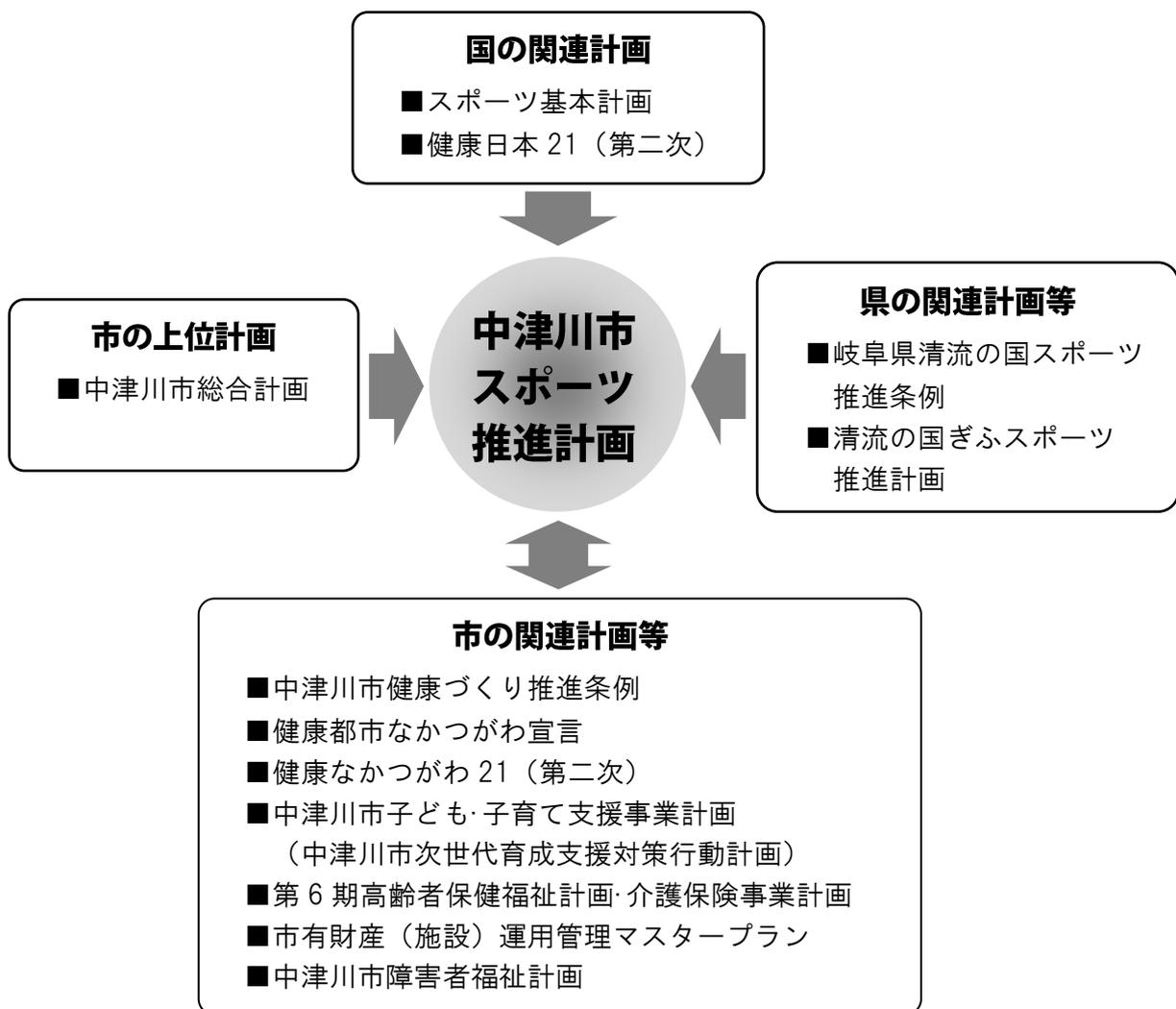
第2章 計画の概要



1. 計画の位置づけと他の計画等との関わり

本計画は、国の「スポーツ基本法」及び「スポーツ基本計画」を参酌するとともに、県の「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」の基本理念や、「清流の国ぎふスポーツ推進計画」の趣旨や方向性を踏まえて策定しています。

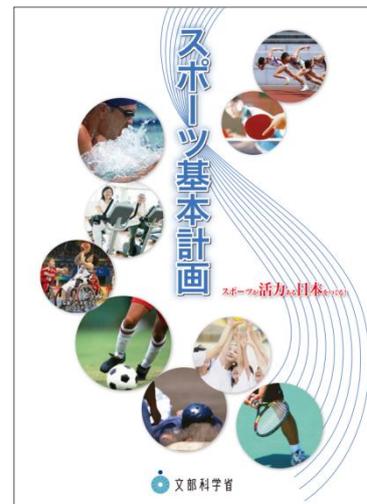
また、市の上位計画である「中津川市総合計画」に基づくとともに、その他関連計画との整合を図りながら策定しています。



【スポーツ基本計画】

国が平成 24 年に策定した「スポーツ基本計画」は、平成 23 年 6 月に制定された「スポーツ基本法」に基づき、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために定めるものです。そのため、「スポーツ基本計画」は、スポーツ基本法の理念を具体化し、今後のわが国のスポーツ政策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置づけられるものであり、今後のスポーツ施策はスポーツ基本計画に基づいて推進されることとなります。

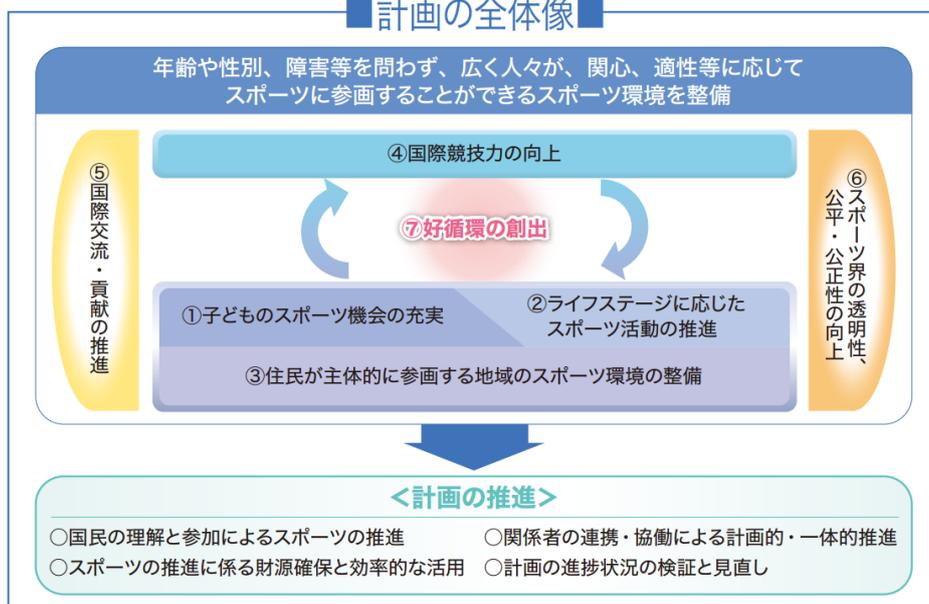
計画期間については、総合的で包括的な計画にするという観点から 10 年間程度を見通した計画としつつ、社会やスポーツ界の変化の早さに適切に対応し、期間経過後における施策の評価を改善サイクルに結びつけるため、平成 24 年度から概ね 5 年間に総合的かつ計画的に取り組む施策を体系化しています。



今後 10 年間を見通したスポーツ推進の基本方針

- ① 子どものスポーツ機会の充実
- ② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ③ 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
- ④ 国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備
- ⑤ オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会の招致・開催等を通じた国際貢献・交流の推進
- ⑥ スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上
- ⑦ スポーツ界の好循環の創出

計画の全体像



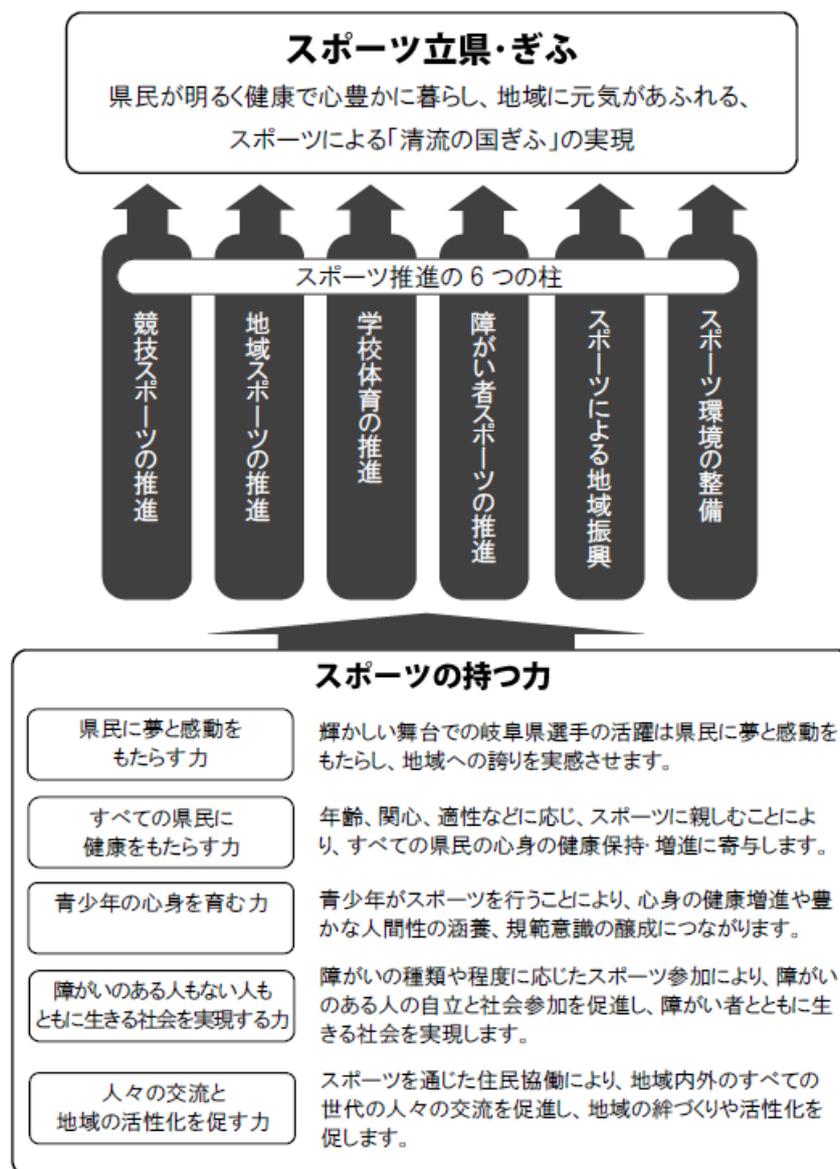
■ スポーツ基本計画の全体像

出典：スポーツ基本計画リーフレット

【清流の国ぎふスポーツ推進計画】

「清流の国ぎふスポーツ推進計画」は、国の「スポーツ基本計画」や、平成 25 年 3 月に制定された「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」の理念を具体化し、県民がスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支える活動に参画することを支援し、競技団体、学校、市町村、県及びスポーツに関係するあらゆる団体がそれぞれの立場でスポーツに関する活動を行うための指針となるものです。

計画期間は、平成 32 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、平成 27 年度から平成 32 年度までの 6 年間となっています。また、計画の基本目標を『スポーツ立県・ぎふ』とし、県民が明るく健康で心豊かに暮らし、地域に元気があふれる、スポーツによる「清流の国ぎふ」の実現に向け、①競技スポーツの推進、②地域スポーツの推進、③学校体育の推進、④障がい者スポーツの推進、⑤スポーツによる地域振興、⑥スポーツ環境の整備 を計画の柱としています。



■清流の国ぎふスポーツ推進計画の全体像

出典：清流の国ぎふスポーツ推進計画



2. 計画の期間

本計画の計画期間は、本市の上位計画である「中津川市総合計画」の計画期間と整合を図り、平成 27 年度を初年度とし、平成 38 年度を目標年度とする 12 年間とします。

なお、中間年である平成 32 年度には、社会情勢の変化や市民の意向等の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行うこととします。

平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年	平成 33 年	平成 34 年	平成 35 年	平成 36 年	平成 37 年	平成 38 年
[中津川市]											
中津川市スポーツ推進計画（平成 27 年度～平成 38 年度）											
中津川市総合計画（平成 27 年度～平成 38 年度）											
[国]											
スポーツ基本計画 （平成 24 年度から 10 年間）											
[県]											
清流の国ぎふスポーツ推進計画 （平成 27 年度～平成 32 年度）											



3. 計画で扱う“スポーツ”の定義

「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」では、“スポーツ”は、青少年の健全な育成や体力の向上、心身の健康保持増進などに大きな役割を果たし、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠なものであり、“スポーツ”及び“スポーツを支える活動”は、地域の一体感や活力の醸成、地域社会の絆の構築、地域の活性化、産業の振興等に寄与するものとしています。こうした“スポーツ”の多様な役割を鑑み、“スポーツ”を“運動競技及びレクリエーションその他の目的で行う身体の運動”と幅広く捉えています。

本計画においても、“スポーツ”と幅広く捉え、運動競技にみられる自己・他者との記録を競ったり、勝敗を争ったりするスポーツだけでなく、レクリエーションをはじめ、趣味として、交流のために気軽に身体を動かすこと、体力づくり、健康増進のために身体を動かすことなどもスポーツとして扱います。

また、自身が身体を動かして行う“する”スポーツだけでなく、プロスポーツ等を観戦する“みる”スポーツ、監督やコーチ、審判、スポーツボランティア、ファン・サポーターとして参加する“ささえる”スポーツなども、この計画ではスポーツとして扱います。



“スポーツ”



第3章 中津川市の現状と課題



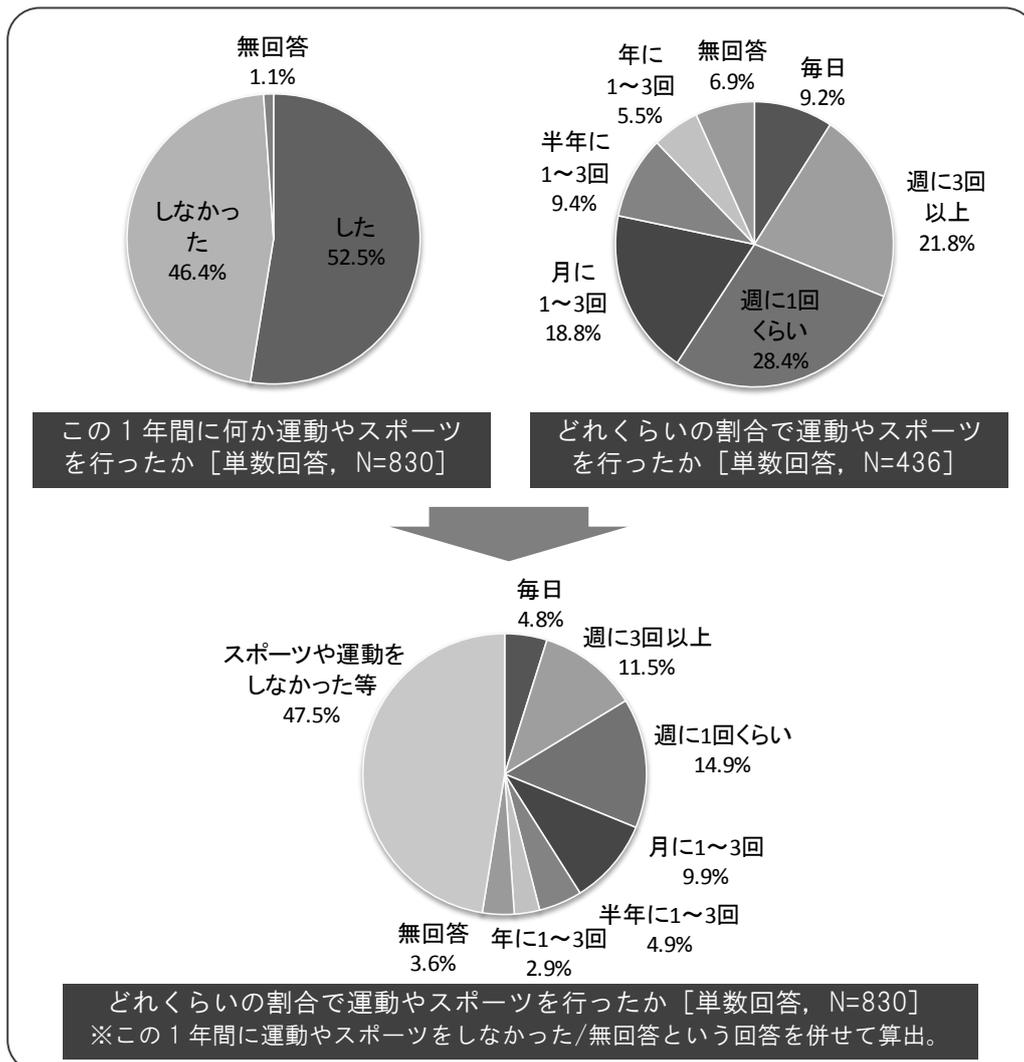
1. スポーツ活動に関する現状

(1) スポーツの実施状況について

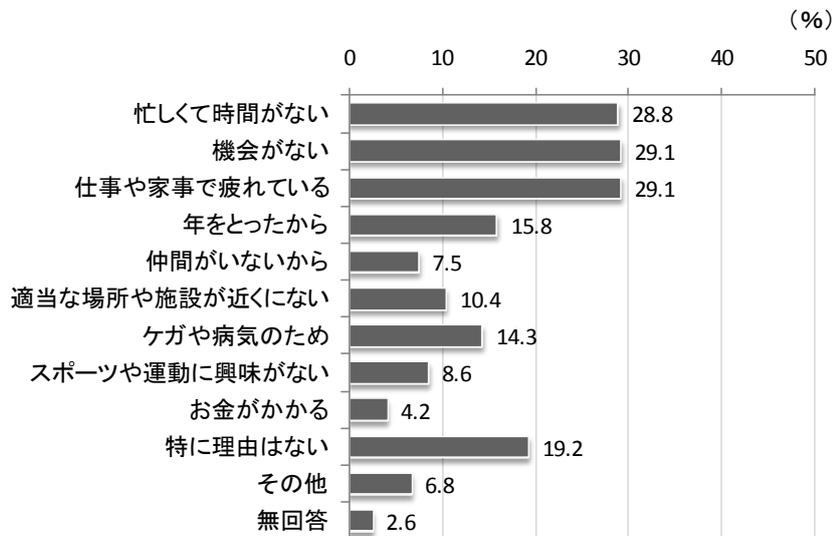
平成 25 年度に市民を対象に実施したスポーツに関するアンケート調査の結果から、この 1 年間に運動やスポーツをした人は約 53%であり、何もしなかったと回答した人も約 46%みられました。また、運動やスポーツをしたと回答した人のうち、週に 1 回以上運動やスポーツをしている人は約 60%であり、運動やスポーツをしなかったと回答した人などを含めると、週に 1 回以上している人の割合は 31.2%でした。

なお、調査方法が若干異なりますが、国の行った調査では、週に 1 回以上スポーツをしている人の割合は 47.5%（平成 24 年度）、岐阜県が行った調査では 42.1%（平成 25 年度）であり、本市では国及び岐阜県の平均値を下回っています。

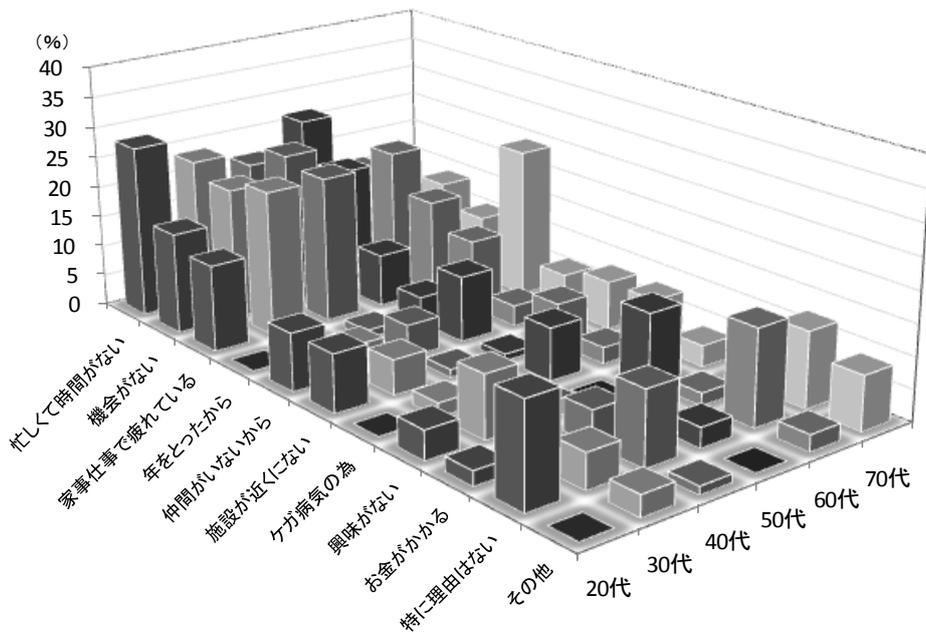
運動やスポーツをしなかった人の理由としては、若い世代を中心に、「機会がない」「仕事や家事で疲れている」「忙しくて時間がない」が比較的多く挙げられました。



※アンケート調査結果の N は有効回答数を表しています。

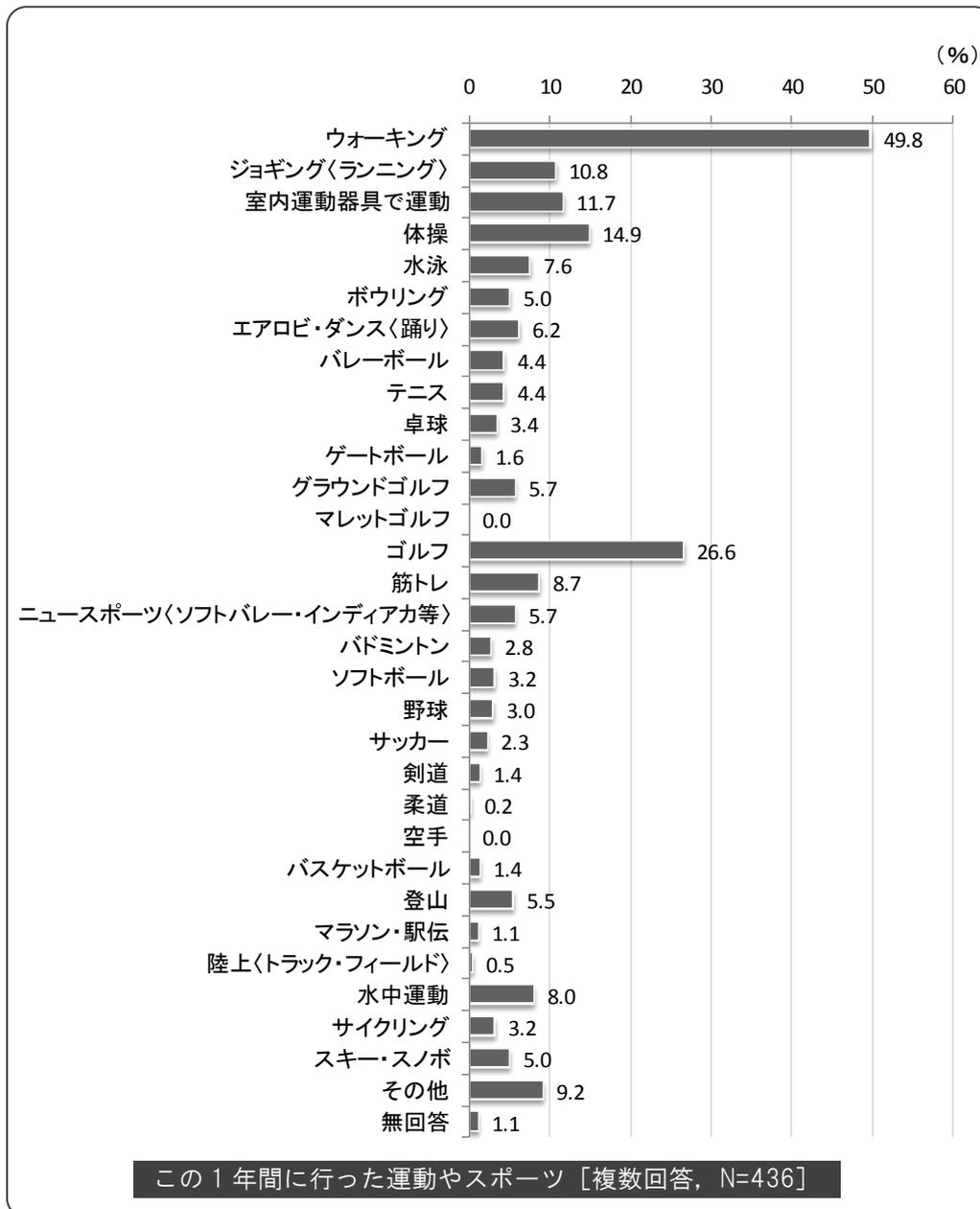


運動やスポーツを行わなかった理由 [複数回答, N=385]



運動やスポーツを行わなかった理由 [年代別クロス集計, N=385]

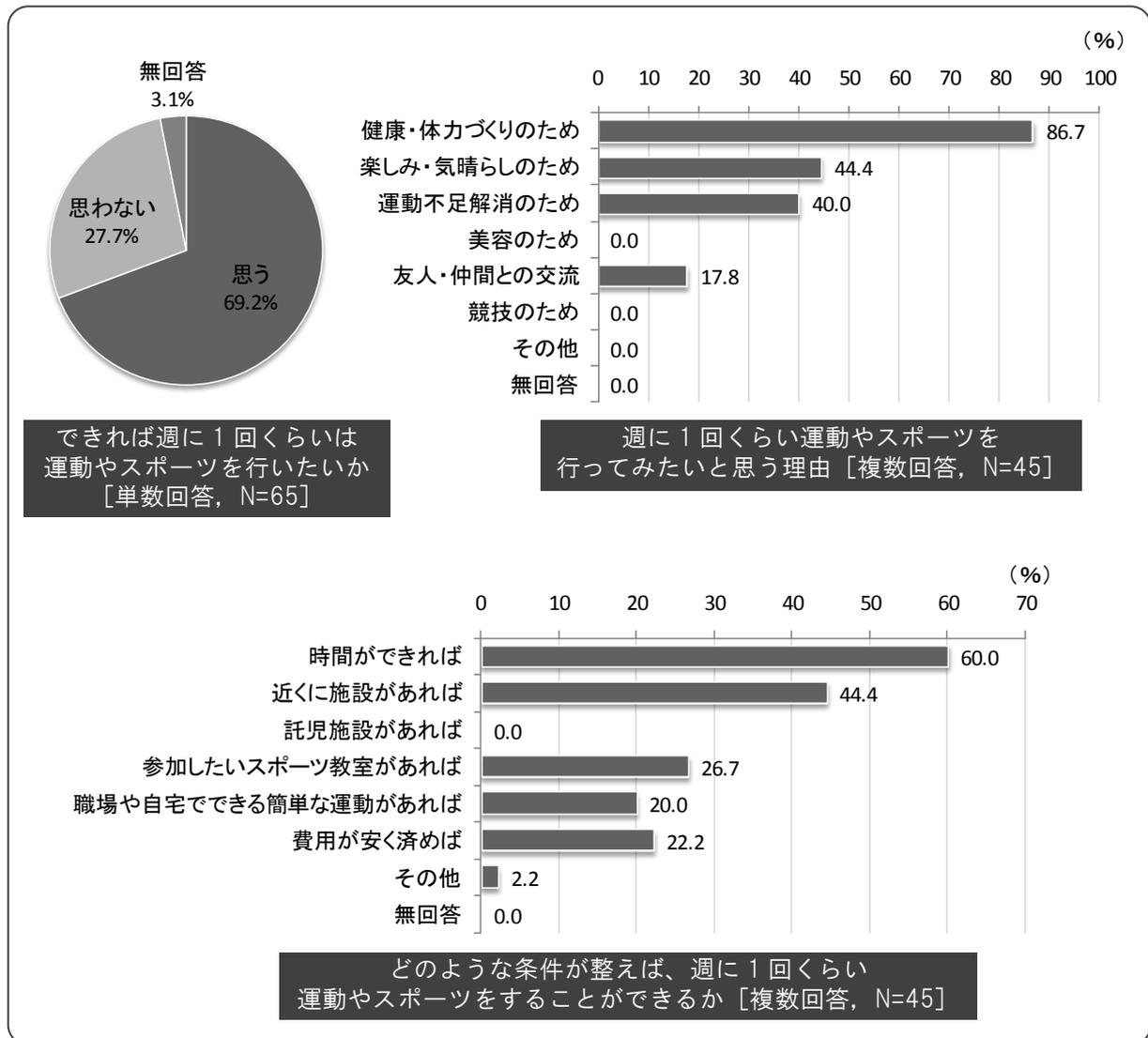
この1年間に行った運動・スポーツとしては、ウォーキングが最も多く、その他、体操や室内運動器具で運動、ジョギング（ランニング）といった、手軽に取り組める運動・スポーツが比較的多く挙げられました。また、ゴルフも約27%と多く挙げられました。



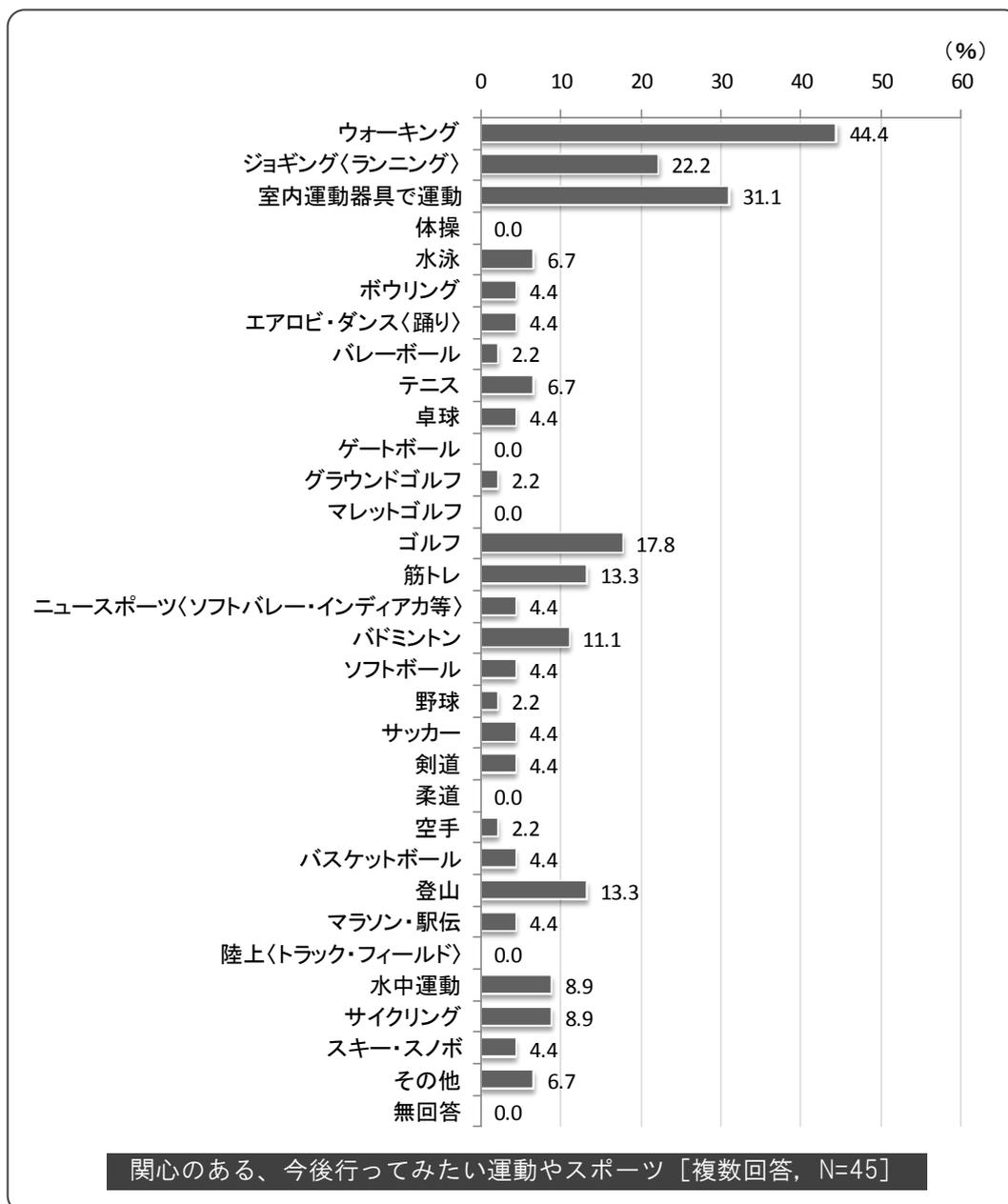
(2) 市民のニーズについて

運動やスポーツを定期的にしていない（半年に 1～3 回未満）人のうち、できれば週に 1 回くらいは運動やスポーツをしたいと考えている人は約 70%であり、その理由としては、「健康・体力づくりのため」が約 87%と圧倒的に多く挙げられました。

また、週に 1 回くらい運動やスポーツに取り組むための条件としては、時間ができるとが約 60%と最も多く、次いでスポーツを行える施設が近くにあることが約 44%でした。



関心のある、今後行ってみたい運動やスポーツの内容としては、ウォーキングやジョギング（ランニング）、室内運動器具で運動などが多く挙げられ、実態と同様に、手軽に取り組める運動やスポーツに人気があることが分かります。



(3) 子どものスポーツについて

平成 26 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果によると、岐阜県の小学校児童の種目別平均点は、男子で 8 種目中 5 種目、女子で 8 種目中 4 種目が全国平均を下回っています。一方、中学校生徒の全国平均を下回っている種目は、男子で 9 種目中 1 種目、女子で 9 種目中 3 種目でした。

なお、本調査結果では、体力総合評価の結果と小学校入学前の体を動かす遊びの経験との関係についても分析されており、小学校入学前に体を動かす複数の遊びを経験することにより、小学校での体力総合評価が高くなる関係性がみられました。

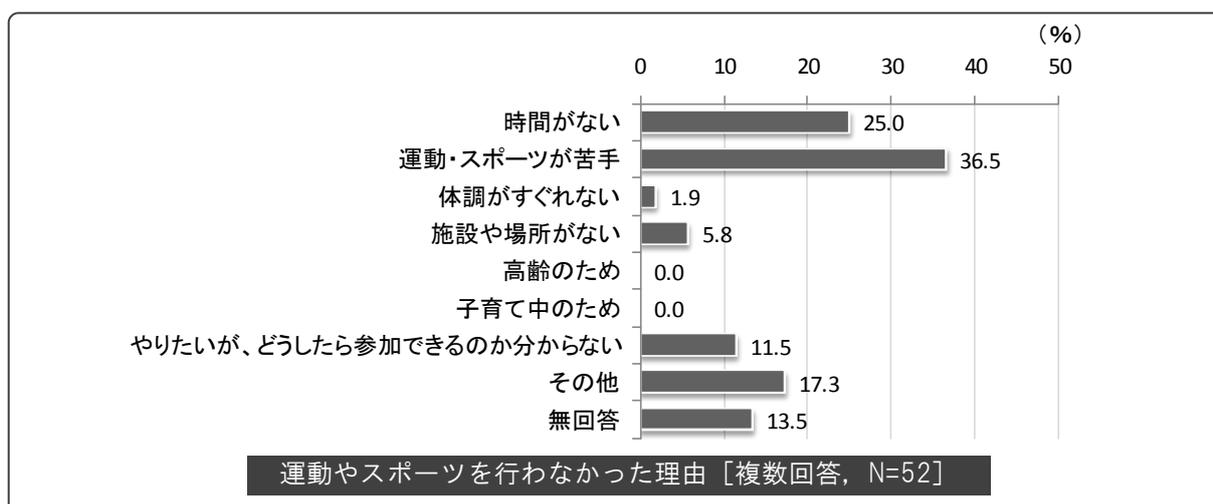
また、平成 25 年度に実施した、総合型地域スポーツクラブ Viva! 中津川の設立に向けたアンケート調査（中津地区の住民対象）の結果から、小学生（7 歳～12 歳）が運動やスポーツを行わなかった理由として、「運動・スポーツが苦手」という理由が最も多く挙げられ、このことから、小学校入学前から体を動かす遊びを経験することが重要であることが分かります。

	種目別平均								体力合計点
	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横飛び (点)	20m シヤトルラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	
岐阜県(男子)	16.25	19.41	32.51	42.06	50.88	9.34	151.61	23.37	53.84
全国(男子)	16.55	19.56	32.87	41.61	51.67	9.38	151.71	22.89	53.91
岐阜県(女子)	15.74	18.10	36.86	39.84	38.94	9.62	144.81	14.53	54.93
全国(女子)	16.09	18.26	37.22	39.37	40.30	9.63	144.79	13.89	55.01

■平成 26 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（小学生）

	種目別平均									体力合計点
	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横飛び (点)	持久走 1500m (秒)	20m シヤトルラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	
岐阜県(男子)	29.05	27.40	44.47	52.53	395.92	85.13	7.93	195.42	21.31	42.82
全国(男子)	29.00	27.36	42.87	51.31	393.74	85.02	8.03	193.44	20.81	41.63
岐阜県(女子)	23.83	22.81	46.07	46.09	297.66	56.65	8.80	167.47	13.37	49.32
全国(女子)	23.68	22.99	45.25	45.64	291.18	57.50	8.87	166.47	12.81	48.55

■平成 26 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（中学生）



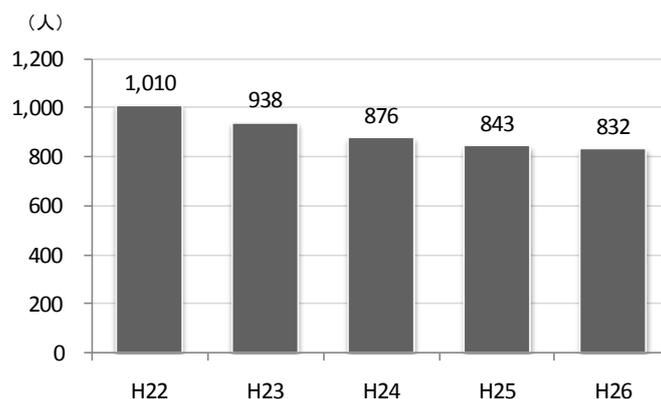
中津川市スポーツ少年団は、地域子どもたちが活動を通してスポーツの喜びを味わうとともに、その過程で友情や協調性・創造性などを育み、人間性豊かな社会人として成長することを目的に活動しています。

平成 26 年現在、中津川市スポーツ少年団には 34 団体が加入し、約 220 名の指導者と約 830 人の団員が各地域で活動を行っています。しかし、少子化によって団員数の減少と加入率の減少傾向が続いており、競技性を重視しない行事や親子で楽しめる行事などを開催し、団員数減少の抑制に努めています。

スポーツ少年団に登録されているスポーツ（14 種目）				（平成 26 年 11 月現在）			
剣道	野球	サッカー	空手				
体操	弓道	柔道	バレーボール				
陸上	ソフトテニス	卓球	バスケットボール				
ソフトボール	スキー						

	団員数・加入率						児童生徒数		
	小学生 (人)	加入率 (%)	中学生 (人)	加入率 (%)	高校生 (人)	合計 (人)	小学生 (人)	中学生 (人)	合計 (人)
H22	654	13.7	350	14.4	6	1,010	4,762	2,432	7,194
H23	599	12.8	332	13.8	7	938	4,680	2,409	7,089
H24	543	11.9	319	13.3	14	876	4,544	2,404	6,948
H25	529	11.9	306	12.8	8	843	4,432	2,394	6,826
H26	520	11.9	308	13.0	4	832	4,377	2,368	6,745

■中津川市スポーツ少年団 団員数・加入率の推移

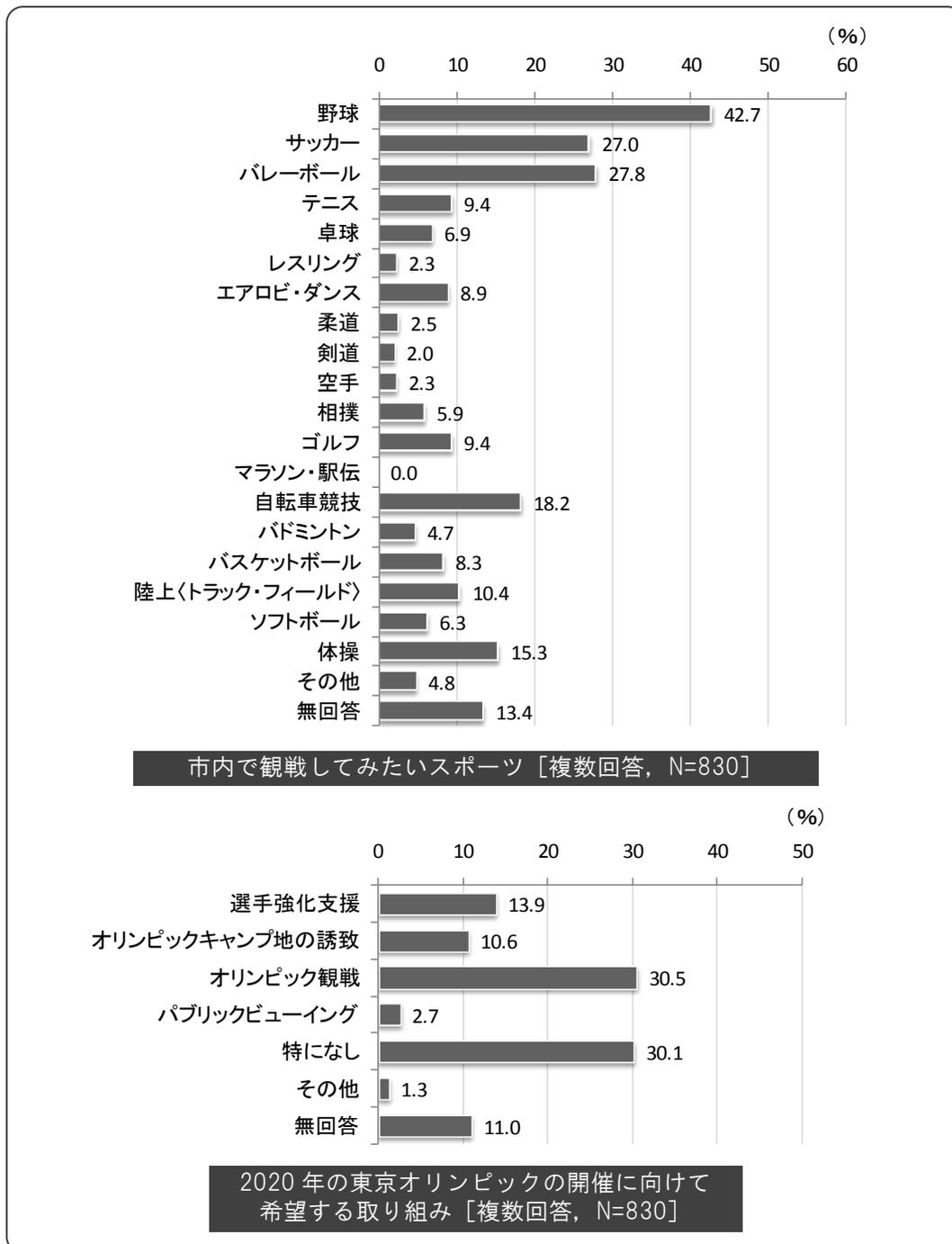


■中津川市スポーツ少年団 団員数の推移

(4) スポーツ観戦について

本市では、平成 25 年に「バレーボール V・プレミアリーグ 女子リーグ戦」、平成 26 年には「オール早慶野球戦 in 中津川」といったプロスポーツ・競技スポーツを観戦する機会がありましたが、市内で観戦してみたいスポーツとしては、野球が約 43%と最も多く、次いでバレーボールが約 28%、サッカーが約 27%となりました。

また、2020 年の東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向けて希望する取り組みとして、オリンピック観戦が約 31%と最も多く挙げられました。



平成 20 年度 観戦事業	観戦者数	種目	実施日
夜明け前スタジアム完成記念社会人野球招待試合 西濃運輸 vs 王子製紙	1,000 人	硬式野球	H20.9.20
夜明け前スタジアム完成記念大学野球招待試合 慶應義塾大学 vs 岐阜選抜	1,000 人	硬式野球	H20.11.24

平成 22 年度 観戦事業	観戦者数	種目	実施日
第 2 回アジアオリエンテリング選手権	1,160 人	オリエンテリング	H22.5.1-2
FC 岐阜 vs ヴァンフォーレ甲府	400 人	サッカー	H22.9.6
日本学生オリエンテリング選手権大会	650 人	オリエンテリング	H23.3.11-13

平成 23 年度 観戦事業	観戦者数	種目	実施日
全日本女子バレーボール「東日本大震災復興支援 チャリティーマッチ IN 中津川」	3,000 人	バレーボール	H23.5.22
FC 岐阜 中津川ホームタウンデー FC 岐阜 vs ガイナーレ鳥取	100 人※	サッカー	H23.8.27
第 37 回内閣総理大臣杯 平成 23 年度全日本大学レスリング選手権	500 人	レスリング	H23.11.12-13

※中津川市からの観戦動員者数

平成 24 年度 観戦事業	観戦者数	種目	実施日
FC 岐阜 中津川ホームタウンデー FC 岐阜 vs 松本山雅 FC	100 人※	サッカー	H24.5.13
ぎふ清流国体	24,000 人	レスリング	H24.9.30-10.3
FC 岐阜 vs MIO びわこ	400 人	サッカー	H25.2.17
2012/13 V プレミアリーグ女子リーグ戦中津川大会	3,000 人	バレーボール	H25.3.16

※中津川市からの観戦動員者数

平成 26 年度 観戦事業	観戦者数	種目	実施日
中津川センターロータリークラブ創設 40 周年記 念事業（中津川市合併 10 周年事業） オール早慶野球戦 in 中津川	5,000 人	野球	H26.8.30
FC 岐阜 中津川ホームタウンデー FC 岐阜 vs 松本山雅 FC	150 人※	サッカー	H26.11.15
第 23 回全日本リレーオリエンテリング大会 中津川市合併 10 周年記念大会	520 人	オリエンテリング	H26.12.7
2014/15 V チャレンジリーグ女子中津川大会	800 人	バレーボール	H27.2.22
第 19 回全国少年少女選抜レスリング大会	3,000 人	レスリング	H27.3.14-15

※中津川市からの観戦動員者数

■平成 20 年度～26 年度の観戦事業一覧



2. スポーツ指導者・関係団体に関する現状

(1) 県のスポーツ指導者情報

県が運営している「SMILE（スマイル）生涯学習情報提供システム」では、県内市町村の生涯学習に関わる施設や団体・グループ、指導者の情報を検索することができます。

この中で、体育・スポーツ・レクリエーションに関する指導者として 224 名が登録されており、本市では、バレーボールの指導者が 2 名登録されています。

指導者情報 その他の検索はこちら GO 出典

[1キーワード等で検索する](#) [2カテゴリから検索する](#) [個人情報保護の考え方をみる](#)

キーワード&その他条件検索

検索したいキーワードを入力して下さい。

指導対象者選択

指定しない
幼児
小学生
中学生
高校生
各種・専修・短大・大学生
勤労青少年

※キーワード検索では各単語の間に「」（半角スペース）を入れるAND検索や、「|」（パイプ）を入れるOR検索が行えます。一度に強語までの指定が可能です。
※指導対象者は、複数選択が可能です。キーボードの「ctrl」キー（WIN）又は「コマンド」キー（MAC）を押しながら選択してください。

検索

■SMILE（スマイル）生涯学習情報提供システム

出典：岐阜県ホームページ

(2) スポーツ少年団登録指導者数

スポーツ少年団の登録指導者数は減少傾向にあり、平成 22 年度には 242 名でしたが、平成 26 年度には 218 名となっています。

	H22	H23	H24	H25	H26
剣道	50	46	45	44	43
野球	38	34	33	32	31
サッカー	40	41	42	43	41
空手	11	12	14	10	11
体操	6	9	8	8	8
弓道	26	25	23	23	23
柔道	20	22	21	20	20
バレーボール	12	13	7	6	6
陸上	13	13	13	12	12
ソフトテニス	5	5	5	6	6
卓球	5	6	4	5	5
バスケットボール	7	6	6	3	4
ソフトボール	2	2	2	2	3
スキー	5	6	6	5	5
テニス	2	2	2	0	0
合計	242	242	231	219	218

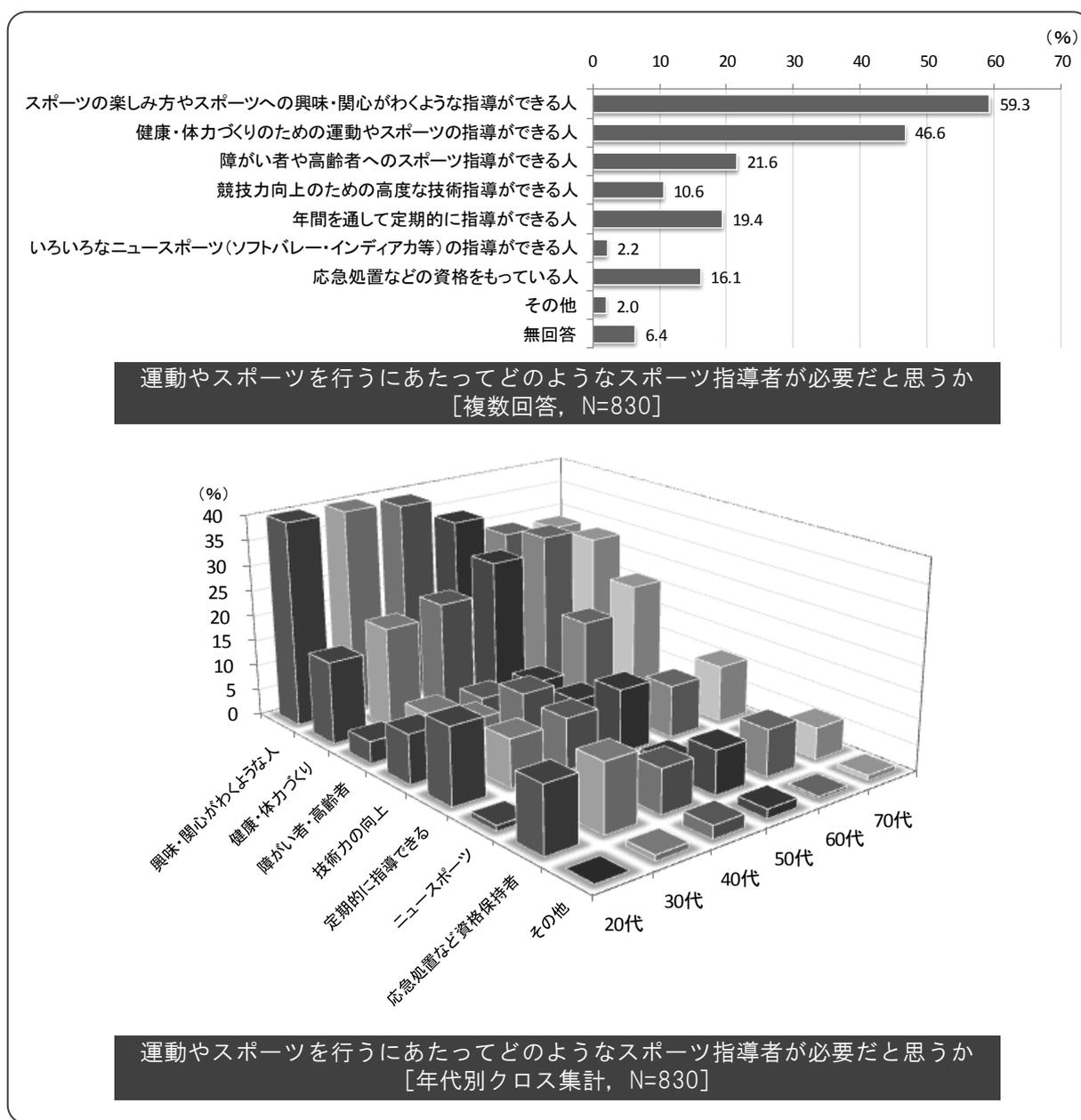
■スポーツ少年団登録指導者数の推移

(3) スポーツ指導者に求めること

運動やスポーツを行うにあたって求められている指導者としては、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が約60%と最も多く、次いで「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」が約47%でした。

なお、若い世代ほど「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」への回答割合が高く、年代が上がるほど「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」への回答割合が高くなる傾向がみられました。

また、子どもたちへの指導にあたっては、技術面だけでなく、苦しいことに立ち向かう精神力、思いやりや助け合いといった、精神面での指導も必要であるといった声も挙げられています。



(4) 中津川市体育協会加盟団体

中津川市体育協会は、アマチュアスポーツの競技力の向上と、次世代の選手の育成に努めるとともに、市民の体力向上を図り、スポーツ精神を養い、地域の発展に寄与することを目的として活動しています。

競技団体（23 団体）		（平成 26 年 11 月現在）	
アーチェリー協会	カヌー協会	空手道連盟	弓道連盟
剣道連盟	サッカー協会	山岳連盟	射撃協会
柔道協会	スキー協会	水泳協会	ソフトテニス協会
ソフトボール協会	体操協会	卓球連盟	テニス協会
軟式野球連盟	バスケットボール協会	バドミントン協会	バレーボール協会
陸上競技協会	レスリング協会	スケート協会	

支部団体（15 団体）		（平成 26 年 11 月現在）	
東支部	南支部	西支部	苗木支部
坂本支部	落合支部	阿木支部	神坂支部
山口支部	坂下支部	川上支部	加子母支部
付知支部	福岡支部	蛭川支部	

関係団体（2 団体）		（平成 26 年 11 月現在）	
スポーツ推進委員会	中学校体育連盟		



■ 中津川市総合体育大会 総合開会式の様子

(5) 中津川市スポーツ推進委員会

中津川市スポーツ推進委員会は、中津川市体育協会 15 支部の代表 42 名により、地域スポーツ振興及び地域スポーツ活動の推進に取り組んでいます。

スポーツ推進委員会で普及を続けてきた軽スポーツ インディアカは、インディアカ連絡協議会が設立され、支部対抗戦の中津川市総合体育大会やクラブチーム対抗戦の市民インディアカ大会が自主運営されるまでに普及しています。今後はビーチボール等の軽スポーツ普及に取り組んでいくこととしており、スポーツ推進委員の研修会なども開催しています。

また、平成 26 年度にスポーツ推進委員を対象に実施したヒアリング調査の結果から、活動するにあたって苦勞していることとしては、参加者を集めることや指導者を増やすこと、活動場所・道具の保管場所が不足していることなどが挙げられました。今後は、他団体等との交流・連携や若い世代の人に関心のあるスポーツの普及等により、地域のスポーツ活動の推進を図っていくこととしています。



■スポーツ推進委員の活動風景

〔左上：ビーチボール研修会の様子、右上：スポーツフェスティバルの様子〕
〔左下：インディアカ教室の様子、右下：軽スポーツ教室の様子〕

■スポーツ推進委員を対象に実施したヒアリング調査の結果

活動するにあたって苦労していること
<p>○イベント・行事における人集めについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会環境が変わり、子どものクラブに保護者が付き添うことで土日がつぶれ、若い人たちの参加が少なくなっており、人集めに苦労している ・ イベントを計画して参加者を募るだけでは参加率向上は見込めないため、何らかの情報を収集し「参加者は何を希望しているか？」を把握することが重要であるが、アンケート等を依頼して集計するなど、大きな労力を要するためなかなか手が出せない <p>○指導者について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昔遊びを覚えている人、教えてくれる人をどうやって探すかが課題である <p>○活動場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館やグラウンドといった、活動場所の確保が難しい ・ スポーツクラブの拠点が中学校施設と併用のため、昼間の活動が制限され、なおかつ夜間にあってはジュニアクラブの使用により一般（社会人）の活動場所に苦しんでいる ・ 東美濃ふれあいセンターは広く、コートも4面取れるのはよいが、使用料金が小学生大会にしては高いので、子どものスポーツ推進の大会などは割引をして欲しい ・ ニュースポーツの普及等に使用する道具を保管する場所が足りず、苦労している
今後の展望
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者バンク（指導者の登録）をつくり、他団体等への指導が可能かどうか等の情報を共有化できるとよい ・ 体協支部と交流・情報充実させるなど、団体の枠を越えての意見交換会を行っていきたい ・ 多くの人に参加してもらえるような新しいスポーツを学んでいきたい ・ 県外の指導者との共同主催大会の開催などを行っていきたい ・ 指導者講習会、昔の遊びの説明会及び講習会を行っていきたい
地域のスポーツ推進につながる取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各支部に総合型地域スポーツクラブを立ち上げる ・ 子どもから大人まで参加できる新しいスポーツやイベントの情報などを発信する ・ 学校、会社（企業）、老人クラブ等の連携を推進する ・ 子どもからお年寄りまで参加しやすいスポーツイベントを開催する ・ スポーツイベントの情報発信（呼びかけ）を行う ・ ターゲット（高齢者・子ども・一般など）を絞ったイベントと全年齢層を対象としたイベントを企画する ・ 加子母では毎年体育祭があり、子どもからお年寄りまで参加できてよい行事だと感じている。今年から午前中で終わる形になったが、なくならないようにしていく ・ 各地域に見える体育委員（福岡では体育推進委員）と体育協会、スポーツ推進委員の連携を密にして、住民のニーズに応じていけるようにする ・ 若い世代が何に興味あるのかという調査を実施する

(6) 中津川市レクリエーション協会

中津川市レクリエーション協会は、「文化・芸能・スポーツ（主に軽スポーツ）・福祉等、様々な分野を取り入れて人の生活を活性化すること」を主旨として、これまで地域子ども会のものづくり（遊び、キャンプ指導）、老人クラブ会合のものづくり・健康体操などに参加しています。また、各種団体の活動現場でのレクリエーション指導をはじめとする各種イベント参加、その他、学校開放施設を利用した生涯スポーツ教室などを行っています。さらに、岐阜県レクリエーション協会の協賛団体として様々な活動もしています。

■中津川市レクリエーション協会を対象に実施したヒアリング調査の結果

今後の展望
<ul style="list-style-type: none">・ 地域事業でのレクリエーション指導などで、次に何をしようかと皆さん頭を抱えてみえる。そういった際に、レクリエーション素材の提供や、それぞれのレクリエーション指導者が関わりやすい体制につなげることができればと考えている・ 中津川市レクリエーション協会をNPO法人化したいと考えている
地域のスポーツ推進につながる取り組み
<ul style="list-style-type: none">・ 競技性のあるスポーツは体育協会、ニュースポーツ・軽スポーツの分野はレクリエーション協会の分野と全国的にも言われています。中津川市においても、レクリエーション分野の更なる普及活動に取り組んでいきたい

(7) 障がい者スポーツ指導員

障がい者スポーツ指導員は、障がい者に対して障がい内容や安全管理に配慮した上で、スポーツの喜びや楽しさを伝え、地域における障がい者スポーツを支援しています。現在、市内においては3名が活動されていますが、障がい者スポーツの普及のために指導員の育成が必要になっています。



■障がい者スポーツ指導員が企画した、中嶋茜さんと阿木小5年生のゴールボール交流会（H26.12）

中嶋茜さん：2012 ロンドンパラリンピック金メダリスト



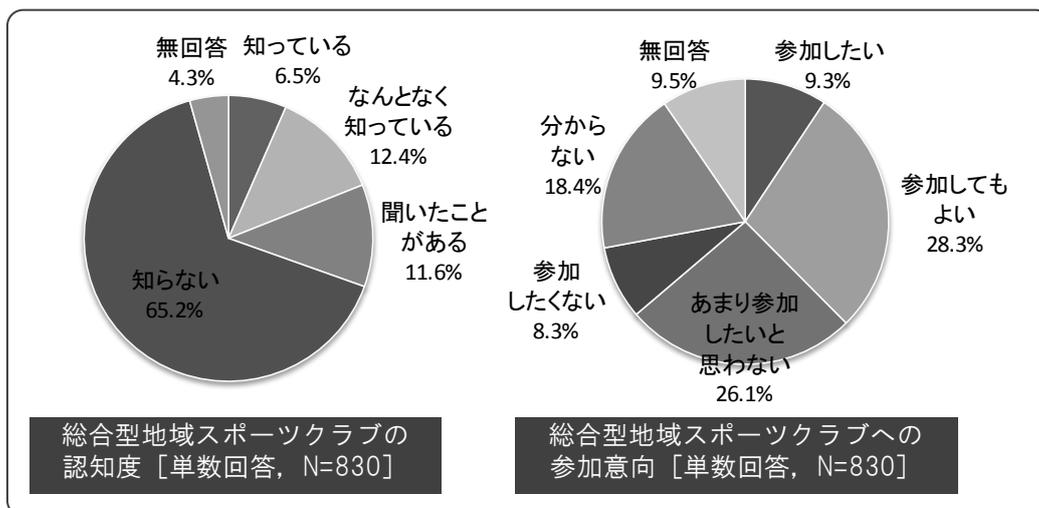
3. スポーツと地域の関わりに関する現状

(1) 総合型地域スポーツクラブ

アンケート調査の結果から、総合型地域スポーツクラブを知らないと回答した人は約 65% であり、「知っている」「なんとなく知っている」と回答した人は、併せて約 20% でした。また、総合型地域スポーツクラブへの参加意向については、「参加したい」「参加してもよい」と考えている人が約 38% でした。

総合型地域スポーツクラブを対象に実施したヒアリング調査の結果から、会員数の拡大や地域のコミュニティづくりに向けたサービスの提供が課題であり、子どもから高齢者、障がい者まで、全ての人に参加できるイベントの開催などにより、世代間を超えた交流の促進を図っていくこととしています。

名称	設立	活動概要
阿木あんきスポーツ 倶楽部	H18	世代間を超えた生涯スポーツを推進することを目的とした総合型スポーツ倶楽部で、主な事業としては子ども向けの「カヌー教室」「スケート教室」、大人向けの「ノルディックウォーク」「太極拳」「軽スポーツ教室」・講演会などである。また、体育協会と密接に連携を保ちながら、阿木区民運動会や三世代交流事業などに参画している。指導者養成にも力を入れている。
認定 NPO 法人 つけちスポーツクラブ	H18	「スポーツで地域と子どもを元気にしよう」をクラブのミッションとし、子どもたちの休日の有効活用、並びに付知町の中津川市への編入合併以降の地域住民総参加型交流事業の展開を両立するべく、付知住民及び周辺の住民に対して、スポーツを通じた地域住民の健康増進、青少年の健全育成、豊かなまちづくり及び自然環境の保全を図ることを目的としている。
蛭川なんじゃもんじゃ クラブ	H21	「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツ・文化を楽しむことができる社会を実現するために、地域住民が主役となり、自ら運営・管理をする総合型地域スポーツクラブを目指している。
NPO 法人 やさかイキイキクラブ	H21	やさかイキイキ倶楽部杯大会（ソフトバレー、グラウンドゴルフ、軽スポーツなど）、継続的に実施している大会（椈の湖ジョギング、椈の湖駅伝、子ども会ビーチボール、春・秋のウォーキング、年代別体力テスト会など）、各種教室（阿寺断層探訪ウォーキング、ノルディックウォーキング、そば打ち体験、浴衣着付け教室、与三郎まつりフォトコンテスト、カヤック体験など）を開催している。
Viva! 中津川	H27	中津地区（東・南・西小学校下）を対象に、子どもから高齢者までが気軽に参加できる場所づくりを目的に活動を行っている。平成 27 年 2 月に設立。

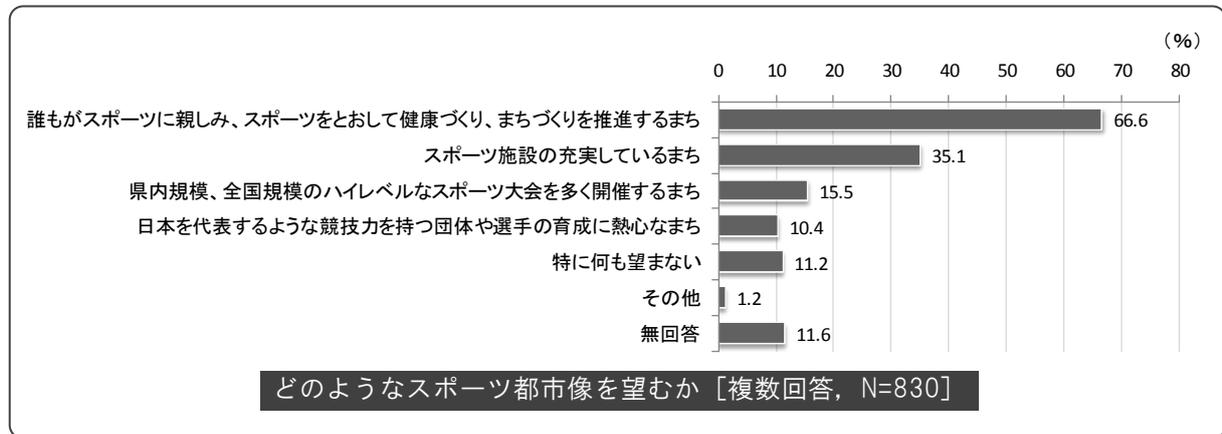


■総合型地域スポーツクラブを対象に実施したヒアリング調査の結果

運営等に関する課題について
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化に伴い、会員数が年々減少している。今後の会員拡大をどうするかが課題である ・ 地域コミュニティの希薄化が進む中、総合型地域スポーツクラブとしてコミュニティ再生を課題に今後どういったサービスを提供していくかを考えなくてはいけない ・ 各種イベント大会等は、運営委員、運営スタッフ、大会審判員、運営補助員に出役依頼して確保している。また、中学生、高校生の人間形成の為に、ボランティアでの大会運営への参画を依頼するなどの協力体制をつくっている ・ 安定した収入の確保が課題である ・ 組織的には全員参加は不可能なので制限が強いられている
地域のスポーツ推進につながる取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブのホームページにて、中学生クラブ・スポーツ少年団が活動ブログとして大会結果などの情報提供を行っており、継続していく ・ 子どもから高齢者、障がい者まですべての方が参加できるイベントなどを開催していく ・ 地区の交流は、徐々にではあるが小学生の行事を通して絆は強くなってきている。さらに高齢者福祉事業・健康に関する事業との連携を取り入れ、世代間を超えた新しい分野の交流がもっと出来るような事業やイベントへの取り組みを検討していく ・ 子どもの数はどんどん減少し、それに伴いスポーツに興味をもつ子どもの数もどんどん少なくなっている。その反面、高齢者がどんどん増え、そうした人々を対象としたスポーツ活動をもっと充実させる必要がある

(2) スポーツ都市像

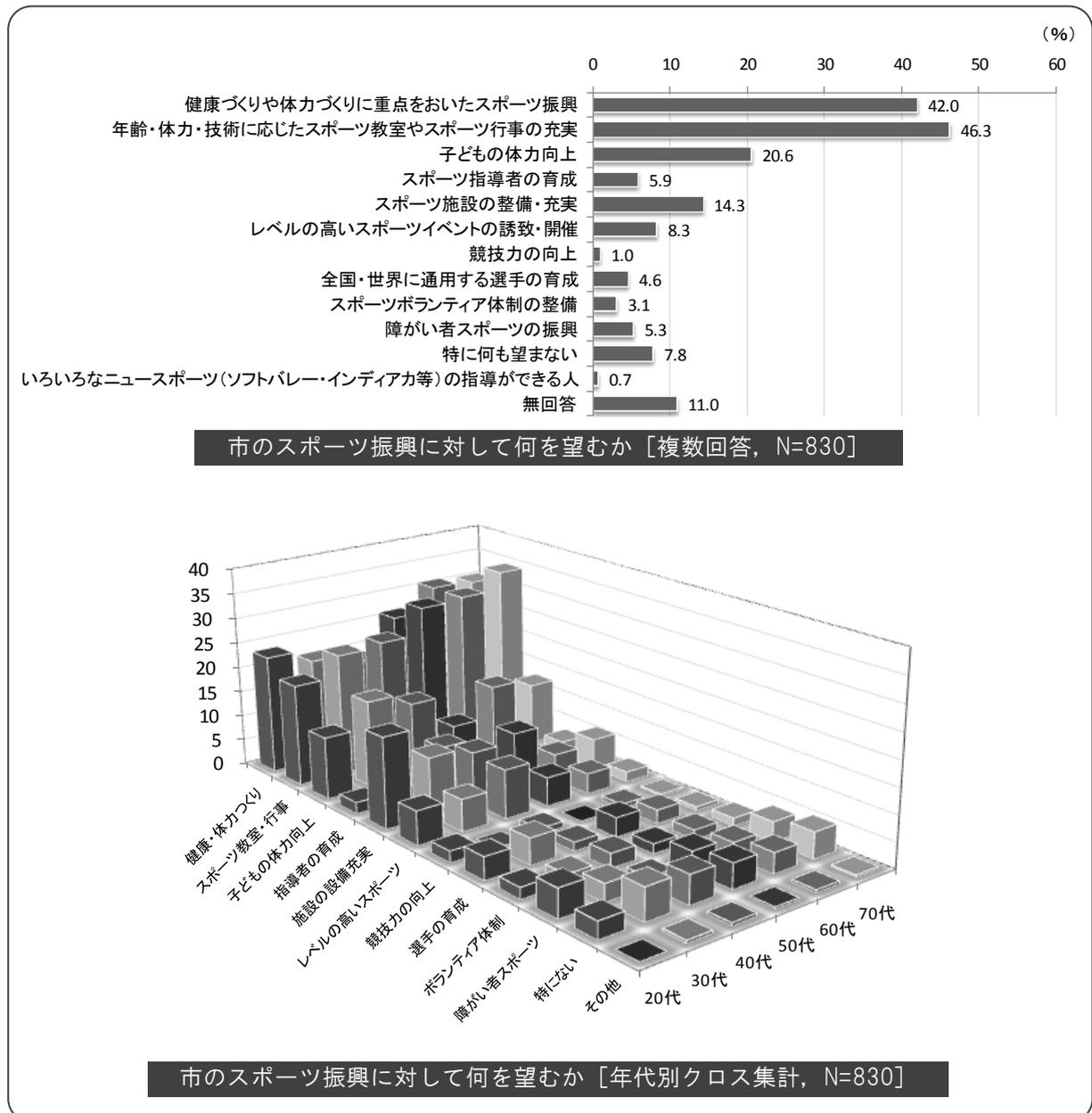
市のめざすべきスポーツ都市像としては、「誰もがスポーツに親しみ、スポーツをとおして健康づくり、まちづくりを推進するまち」が最も多く挙げられ、スポーツをより身近なものとし、スポーツを通じたまちづくりを進めることへの期待が高まっています。



(3) スポーツ推進施策

市のスポーツ推進にあたって希望する取り組みとしては、「年齢・体力・技術に応じたスポーツ教室やスポーツ行事の充実」や「健康づくりや体力づくりに重点をおいたスポーツ振興」が比較的多く挙げられました。

また、若い世代では「子どもの体力向上」や「スポーツ施設の整備・充実」といった回答も比較的多く挙げられました。



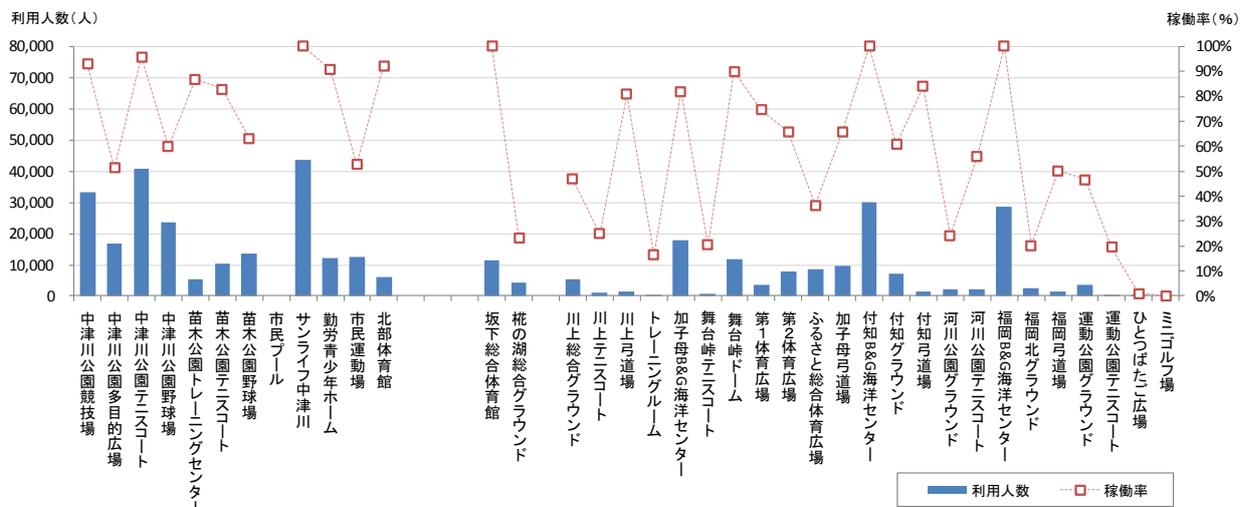


4. スポーツ施設に関する現状

(1) スポーツ施設の利用状況、推移

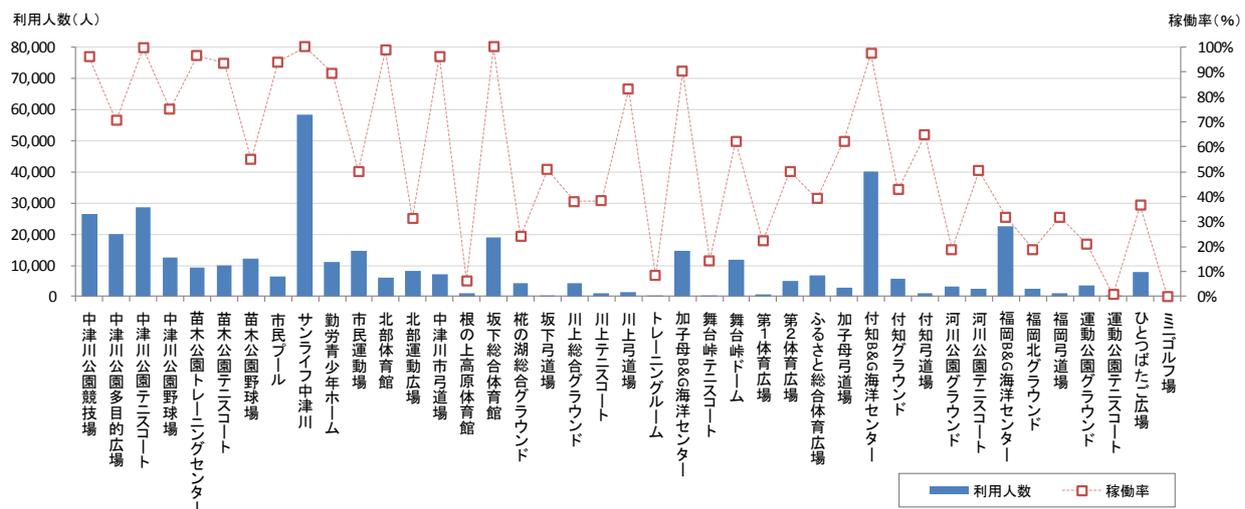
本市には、中津川公園の競技場や多目的広場、サンライフ中津川、加子母、付知及び福岡地域のB&G海洋センターなど、多様なスポーツ施設が整備されています。

平成25年度の年間利用人数をみると、サンライフ中津川で58,486人と最も多く、中津川公園や苗木公園内のスポーツ施設、各地域のB&G海洋センターで利用人数が比較的多く、稼働率（開館日数に対する利用日数の割合）も高くなっています。



■文化スポーツ施設等の利用人数・稼働率 (平成21年度)

出典：文化スポーツ部・生涯学習スポーツ課資料



■文化スポーツ施設等の利用人数・稼働率 (平成25年度)

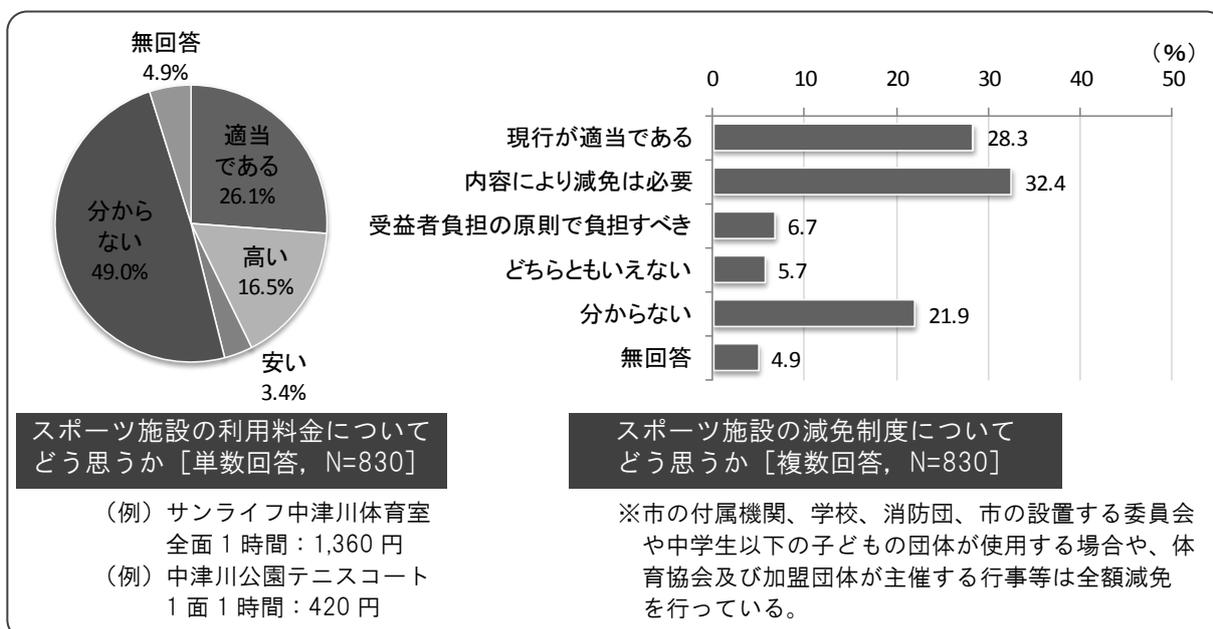
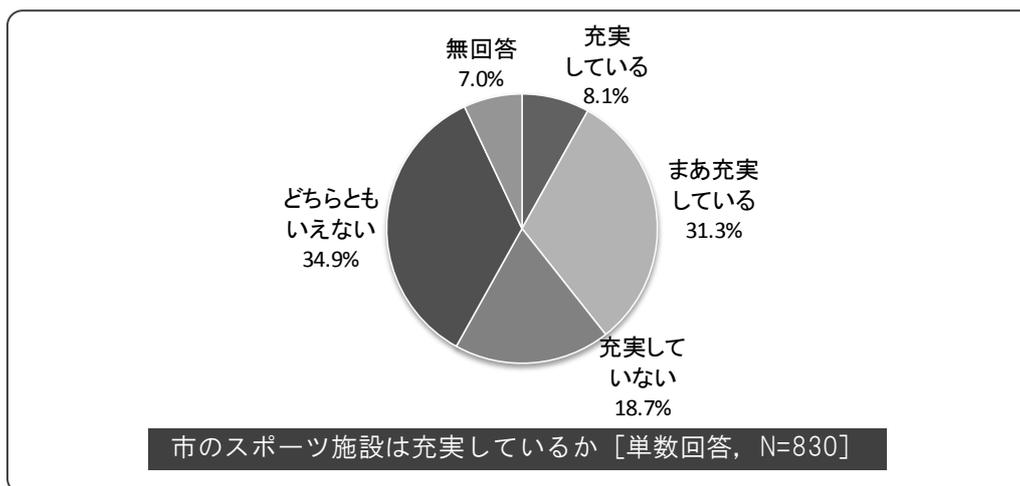
出典：文化スポーツ部・生涯学習スポーツ課資料

(2) スポーツ施設の満足度

市のスポーツ施設については、充実しているという回答が約40%でした。また、現在のスポーツ施設の使用料については、適当であるという回答が約26%でした。

市のスポーツ施設の使用料の減免制度については、「現行が適当である」「内容により減免は必要」のように、減免制度については賛成の意見が多くあります。

今後特に整備して欲しいスポーツ施設としては、屋内トレーニング施設が約31%と最も多く、次いでジョギング（ランニング）コースが約25%でした。



(3) スポーツ施設の再編方針

本市では、近年の人口減少や少子高齢化といった人口構造の変化による市民ニーズの移り変わりや、長引く経済の低迷による厳しい財政状況の中で、市有施設の管理、改修及び建替えの経費の増加といったことを背景に、平成 26 年 3 月に「市有財産（施設）運用管理マスタープラン」を策定しています。

スポーツ施設の再編計画をみると、「グラウンドや広場は、スポーツのみならず多目的に利用されており、災害時の緊急避難所的な役割の面からも重要な施設であり、維持管理費も少額であることから基本的に市有施設として維持するものの、恵下グラウンド、湯舟沢スポーツ広場及び加子母ふるさと第1体育広場については地域移譲を目指す。また、借地が解消できない場合は、統廃合を含めて検討を行う。」とされています。

区分	施設名称	地区	再編方針			
屋外施設	競技場	中津川公園 競技場	坂本	継続保全	市の拠点施設	
	グラウンド・運動場	市民運動場 グラウンド	中津	継続保全	市の拠点施設	
		恵下グラウンド	中津	地域移譲	—	
		中津川公園 多目的広場	坂本	継続保全	市の拠点施設	
		坂本北部運動広場	坂本	継続保全	—	
		湯舟沢スポーツ広場	神坂	地域移譲	クアリゾート湯舟沢との連携も検討	
		馬籠総合グラウンド	山口	継続保全	地域の拠点施設	
		椎の湖総合グラウンド	坂下	継続保全	—	
		川上運動公園 総合運動場	川上	継続保全	—	
		加子母ふるさと総合体育広場	加子母	継続保全	—	
		加子母ふるさと第1体育広場	加子母	地域移譲	—	
		加子母ふるさと第2体育広場	加子母	継続保全	—	
		付知グラウンド	付知	継続保全	—	
		付知中央河川公園 グラウンド	付知	継続保全	—	
		福岡北運動場	福岡	継続保全	—	
		蛭川ひとつばたご広場	蛭川	継続保全	—	
		蛭川運動公園 グラウンド	蛭川	継続保全	—	
	野球場	苗木公園 野球場	苗木	継続保全	市の拠点施設	
		中津川公園 野球場	坂本	継続保全	市の拠点施設	
	テニスコート	苗木公園 テニスコート	苗木	継続保全	市の拠点施設	
		中津川公園 テニスコート	坂本	継続保全	市の拠点施設	
		川上運動公園 テニスコート	川上	継続保全	地域の拠点施設	
		加子母B&G海洋センター テニスコート	加子母	継続保全	地域の拠点施設	
		付知中央河川公園 テニスコート	付知	継続保全	地域の拠点施設	
		蛭川運動公園 テニスコート	蛭川	継続保全	地域の拠点施設	
	プール	市民プール	中津	継続保全	市の拠点施設	
		子野プール	中津	地域移譲	—	
		坂下プール	坂下	継続保全	防災水利としても必要	
		加子母B&G海洋センター プール	加子母	継続保全	地域の拠点施設。下呂市と共同運営	
		付知B&G海洋センター プール	付知	継続保全	地域の拠点施設。学校施設としての利用を考慮	
		福岡B&G海洋センター プール	福岡	継続保全	地域の拠点施設。学校施設としての利用を考慮	
	弓道場	市民運動場 弓道場	中津	統合	弓道場を市内3ヶ所に集約(場所は未定)	
		坂下総合体育館 弓道場	坂下	統合	弓道場を市内3ヶ所に集約(場所は未定)	
		川上運動公園 弓道場	川上	統合	弓道場を市内3ヶ所に集約(場所は未定)	
		加子母弓道場	加子母	統合	弓道場を市内3ヶ所に集約(場所は未定)	
		付知弓道場	付知	統合	弓道場を市内3ヶ所に集約(場所は未定)	
		福岡弓道場	福岡	統合	弓道場を市内3ヶ所に集約(場所は未定)	
		その他	蛭川ミニゴルフ場	蛭川	用途廃止	—
	屋内施設	体育館・アリーナ	サンライフ中津川 体育館	中津	継続保全	市の拠点施設
			根の上高原 体育館	中津	検討中	観光面での活用を検討
中央公民館 体育室			中津	継続保全	公民館の一部	
北部体育館			坂本	継続保全	地域の拠点施設	
東美濃ふれあいセンター 多目的アリーナ			坂本	継続保全	市の拠点施設	
馬籠ふるさと学校 アリーナ			山口	継続保全	地域の拠点施設	
坂下総合体育館 体操場			坂下	継続保全	学校施設としての利用を考慮	
加子母B&G海洋センター アリーナ			加子母	継続保全	地域の拠点施設。下呂市と共同運営	
付知B&G海洋センター アリーナ			付知	継続保全	地域の拠点施設。学校施設としての利用を考慮	
福岡B&G海洋センター アリーナ			福岡	継続保全	地域の拠点施設。学校施設としての利用を考慮	
武道場			加子母B&G海洋センター 武道場	加子母	継続保全	地域の拠点施設。下呂市と共同運営
			付知B&G海洋センター 武道場	付知	継続保全	地域の拠点施設。学校施設としての利用を考慮
			福岡B&G海洋センター 武道場	福岡	継続保全	地域の拠点施設。学校施設としての利用を考慮
その他		サンライフ中津川 勤労青少年ホーム	中津	検討中	周辺施設と一体化を検討	
		苗木公園 トレーニングセンター	苗木	継続保全	市の拠点施設	
		加子母B&G海洋センター 舞台峡ドーム	加子母	継続保全	地域の拠点施設。下呂市と共同運営	

■ スポーツ施設の再編方針

出典：市有財産（施設）運用管理マスタープラン～市有施設見直し方針について～（平成 26 年 3 月策定）



5. 情報提供に関する現状

(1) スポーツに関する情報提供の状況

市では、現在、市ホームページや広報なかつがわにおいて、スポーツ活動に関する情報提供を実施しています。

また、スポーツ施設予約状況閲覧システムにより、スポーツ施設の予約情報や使用規定・料金表等を公開しています。

中津川公園野球場(夜明け前スタジアム) 利用予約状況

<< 前月 2014年11月 次月 >>

2014年11月10日 13:47更新

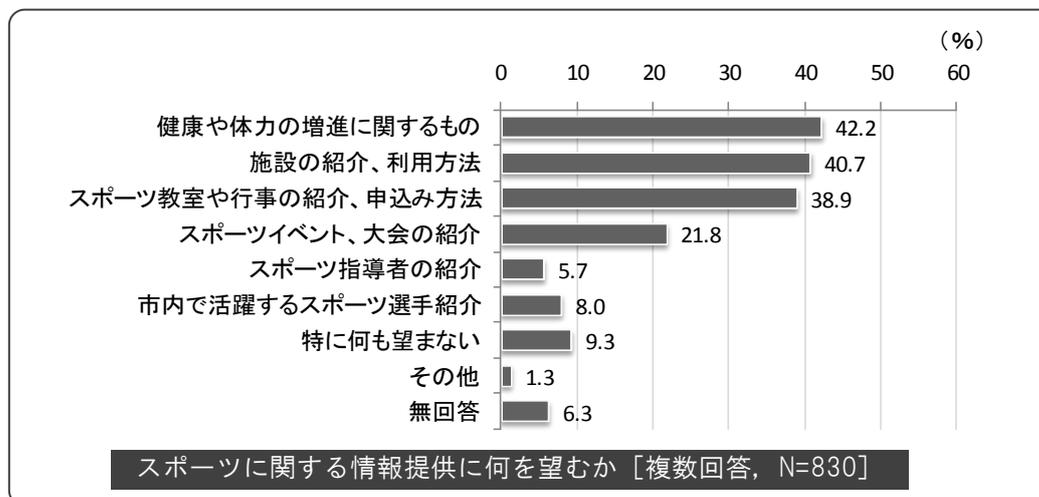
2014年11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
施設名	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
グラウンド	×	×	×	×	×	×	△	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	※	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
本部室	×	×	×	×	×	×	△	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	※	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
放送記録室	×	×	×	×	×	×	△	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	※	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
記者室	×	×	×	×	×	×	△	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	※	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
審判控室	×	×	×	×	×	×	△	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	※	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
会議室	×	×	×	×	×	×	△	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	※	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×

○(空あり) △(一部予約済み) ▲(夜間空きなし) ×(空き) ※(休館日) 空欄は公開していません

■ スポーツ施設の利用予約状況（中津川公園野球場）

(2) スポーツに関する情報提供への要望

市が行うスポーツに関する情報提供に望むものとしては、「施設の紹介、利用案内」や「スポーツ教室や行事の紹介、申込み方法」に加え、「健康や体力の増進に関するもの」が多く挙げられました。





6. 今後のスポーツ推進に向けた課題

中津川市のスポーツに関する現状を踏まえ、今後のスポーツ推進に向けた課題を、スポーツ活動、スポーツ指導者・関係団体、スポーツと地域との関わり、スポーツ施設、情報提供の5つの視点で整理しました。

(1) スポーツ活動に関すること

- スポーツ実施率（週1回以上スポーツをしている人の割合）は31.2%であり、実施率の把握方法の違いはあるものの、国の実施率と比較して低い値となっています。
- 忙しくて時間がない、スポーツをする機会がない、仕事や家事で疲れている等の理由から、スポーツを行うことができない人がいます。また、現在行っている人も、時間だけでなく、近くにスポーツ施設や参加してみたいスポーツ教室があれば、定期的にスポーツをしたいと考えている人がいます。
- ウォーキングやジョギング、室内器具を使った運動、筋力トレーニングといった、手軽に取り組むことのできるスポーツに人気があります。
- 現在、各地区で健康・体力増進、地域コミュニティづくりを目的としたスポーツ教室・大会等が実施されていますが、こうした健康・体力づくりに重点を置いたスポーツ振興や、市民の年齢・体力等に応じたスポーツ教室・行事の実施が求められています。
- スポーツ観戦について、野球やバレーボール、サッカー等を市内で観戦したいという要望があり、特に、プロスポーツの観戦やふれあいは、子どもたちの健全育成、技術力向上につながると期待されています。

(2) スポーツ指導者・関係団体に関すること

- 市のスポーツ推進にあたって、スポーツへの興味・関心がわくような指導のできる指導者が求められています。
- 市では、以前にスポーツ指導者登録バンクがありましたが、現在は運用されていません。県では、SMILE 生涯学習支援情報システムを運営しており、この中にはスポーツ指導者登録バンクもありますが、本市では2名の登録にとどまっています。
- 学校部活動における社会人指導者による指導も増加してきており、子どもの健全育成にあたって、学校と社会人指導者のさらなる連携が必要です。また、技術面だけでなく、苦しいことに立ち向かう精神力、思いやりや助け合いといった心など、精神面での指導ができる指導者も求められています。
- 障がい者がスポーツを行う場合、障がいの程度により指導が困難となり、専門的な知識が必要です。市内の障がい者スポーツ指導者は現在3名にとどまっており、関係団体等により各地域最低1名の専門指導者の育成が求められています。

(3) スポーツと地域の関わりに関すること

- 現在、各地域では地域住民の健康増進やコミュニティ形成を目的としたスポーツ教室・行事が行われています。一方で、参加者が固定されていて新しい参加者がいないことが課題となっており、各地域の地区運動会は、廃止や縮小しての開催等が強いられています。
- 地区でのスポーツ行事は、地域コミュニティには欠かせないものであるという認識も強く、若い人をはじめ、多くの市民が参加できる内容への変更等も求められています。
- 市内では複数の総合型地域スポーツクラブが活動しており、認知度は高くないものの、約4割の方が参加意向を示しています。総合型地域スポーツクラブには、地域のコミュニティづくりに向けて、世代間を超えた交流の促進が期待されています。

(4) スポーツ施設に関すること

- 市内には、競技場や多目的広場、野球場、テニスコートなどが一体となった総合スポーツ施設である中津川公園、苗木公園をはじめ、サンライフ中津川、加子母や付知、福岡地域のB&G海洋センターなど、多様なスポーツ施設が整備されており、充実していると認識されています。
- 各地域にグラウンドやテニスコート、弓道場などの施設が点在しており、稼働率の二極化もみられ、平成26年3月に策定した「市有財産（施設）運用管理マスタープラン」に基づく適切な維持管理が求められています。
- 屋内トレーニング場やジョギング・ランニングコースの整備など、気軽に利用できるスポーツ施設が求められています。
- 市では、市の附属機関、学校、消防団、市の設置する委員会、または中学生以下の子どもの団体が使用する場合や体育協会及び加盟団体が主催する行事等は全額減免を行っていますが、公平性の原則から利用者負担を求める意見もあります。
- 多くのスポーツ施設で、障がい者の利用しやすい施設が求められています。

(5) 情報提供に関すること

- スポーツに関する情報提供については、スポーツ施設の紹介や利用方法、スポーツ教室や行事の紹介等に加え、健康や体力の増進に関する情報が求められています。
- 市では、市ホームページや広報なかつがわ等を利用して情報発信を行っていますが、市民が情報を入手しやすい方法による情報提供と、市民が求めている情報の発信の強化が求められています。

第4章 計画の基本的な考え方



1. 基本理念・数値目標

(1) 基本理念

本市では、『かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる 中津川』の実現に向けて策定された市の最上位計画「中津川市総合計画」（平成27年度から平成38年度まで）の中で、文化スポーツに関する基本目標として『人々がかがやくまち中津川』と掲げ、政策として『いきいきと暮らせるまち』を打ち出しています。

本計画では、これらの政策に基づき、豊かな自然環境と充実したスポーツ環境の下、市民一人ひとりがスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康づくりと地域の絆を深める、いきいきと暮らせるまちを目指して、『スポーツで人と地域が かがやくまち なかつがわ』を基本理念として掲げます。

スポーツで人と地域が かがやくまち なかつがわ

(2) 数値目標

本計画の基本理念である、市民一人ひとりがスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康づくりと地域の絆が深まる、いきいきと暮らせるまち 『スポーツで人と地域が かがやくまち なかつがわ』の実現に向けて、成人の週1回以上のスポーツ実施率を数値目標として設定します。

国のスポーツ基本計画では、成人の週1回以上のスポーツ実施率を65%程度にする目標を掲げていることを踏まえ、本計画の数値目標を以下のとおり設定します。

成人の週1回以上のスポーツ実施率を、現状の31.2%から、平成32年度までに50%以上、平成38年度までに65%以上にします！

31.2% ➡ 2人に1人以上 ➡ 3人に2人以上

【参考】

「健康なかつがわ21（第二次）」では、身体機能の維持・向上に関する評価指標として、運動習慣者（30分・週2回以上の運動を1年以上継続している方）の割合の増加を設定しています。

現状：30～64歳男性 29.9%、女性 23.3% 65歳以上男性 46.8%、女性 45.8%

目標：30～64歳男性 36.0%、女性 33.0% 65歳以上男性 58.0%、女性 48.0%



2. 基本方針

基本理念の実現に向け、スポーツ活動を推進するにあたっての基本方針を、以下のとおり設定します。

基本方針 1 生涯にわたるスポーツ活動の推進

「一市民 1 スポーツ」

スポーツの推進には、健康増進や体力向上、精神修養、子ども青少年の成長、地域コミュニティの活性化などの様々な効果が期待されています。しかし、本市のスポーツ実施率からも分かるように、仕事や家事で忙しい、スポーツ施設が身近にないといった理由から、全ての人がスポーツに親しむことができているわけではありません。

しかし、野球やサッカーといったいわゆる競技スポーツ以外に、ランニングやジョギング、ウォーキング、健康体操といった身体活動などの生涯スポーツも人気があり、市民一人ひとりが、自分のライフステージに合わせて、身近なスポーツを取り入れることで、スポーツに取り組む裾野を広げていきます。

基本方針 2 スポーツを通じた地域づくりの推進

「スポーツが深める地域の絆」

近年、少子高齢化や空き家の増加などが問題視されており、地域コミュニティの崩壊も危惧されています。本市においても少子高齢化の影響は顕著に表れており、近頃は子どもが外で遊ぶ姿を見なくなったという声も聞かれます。

市では、各地域においてスポーツ教室・行事を開催しており、スポーツの振興による地域コミュニティの維持・活性化を進めています。こうした地域コミュニティづくりを継続して進めていくとともに、総合型地域スポーツクラブを中心として、世代間を超えた交流の促進を図ります。

基本方針 3 スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実

「充実したスポーツ環境」

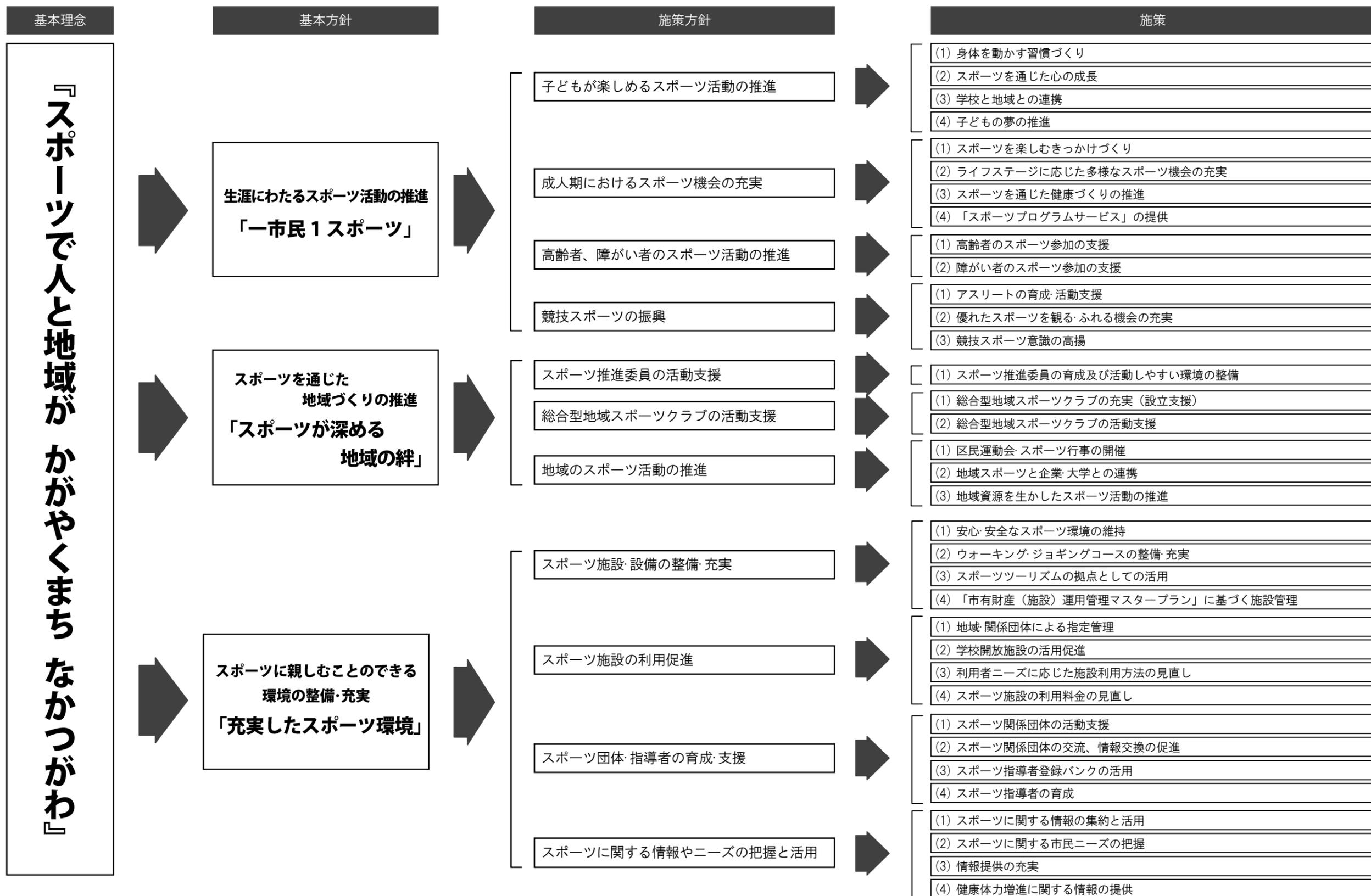
本市には比較的充実したスポーツ環境が整っています。一方で、総面積が 676.38km²、県下 6 番目の広さを持つ本市では、全ての人の身近にスポーツ環境が整っているとは言えません。特に、少子高齢化が進む中、健康づくりを目的とした運動の需要が高い高齢者においては、スポーツ施設に行く手段も限られており、スポーツ活動が制限されてしまう現状にあります。

こうしたことを踏まえ、身近で気軽にスポーツに親しむことのできる環境の整備を図るため、各地域にウォーキング・ジョギングコースの設定を積極的に行うとともに、こうしたスポーツ環境だけでなく、公民館講座での健康づくり教室や、スポーツ指導者や関係団体の支援・連携、情報の提供といったソフトの充実を図ります。また、既存施設の維持管理の面から、「市有財産（施設）運用管理マスタープラン」による統廃合をはじめとする施設の適切な維持管理も推進します。



3. 施策体系

本計画の施策体系を以下に示します。



第5章 具体的施策の展開



基本方針1 生涯にわたるスポーツ活動の推進

施策方針1 子どもが楽しめるスポーツ活動の推進

現在、スポーツをする子としない子の二極化が進み、体力格差が進んでいること等が問題となっています。子どもの頃からスポーツに親しみ、身体を動かすことの楽しさを知ることが、その後の心身の健全な成長に大きな意味を持ってきます。

幼児向けの運動教室の充実や学校での運動部活動の充実、地域と連携した子どものスポーツ活動の推進により、子どもたちがスポーツに関心を持ち、楽しさや喜びを味わう機会を充実します。

(1) 身体を動かす習慣づくり

幼い頃から運動や身体を動かす遊びに親しみ、身体を動かす楽しさを知り、それが習慣となるよう、教育委員会等と連携し、幼児や子ども、その保護者を対象とした親子での運動・親子のふれあいあそびを開催します。

また、体育・運動指導員による子育てセミナーでの親子体操などを通じて、運動遊びを取り入れた体力増進を図ります。

(2) スポーツを通じた心の成長

スポーツを楽しむだけでなく、目標を設定してその実現に向けて努力をすること、また、チームメイトと手を取り合って目標に向かうことは、子どもの心と身体の健全な育成につながります。

子どもたちがスポーツに日常的に親しむ機会である学校での体育の授業や運動部活動においては、教育委員会が中津川市体育協会と連携し、スポーツのルールや方法だけでなく、目標を設定して努力することや仲間と協力すること、次にその場所を使う人への思いやり、スポーツを支えてくれる人への感謝の気持ちなど、スポーツを通じた心の成長を推進します。なお、運動部活動のあり方についても、検討していく必要があります。

(3) 学校と地域との連携

子どもたちのスポーツ活動に対するニーズは広範に及び、学校の体育の授業や運動部活動だけでは十分とは言えません。

スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブなど、地域で活動しているスポーツ団体と連携し、子どもたちのスポーツ活動を総合的に推進します。

(4) 子どもの夢の推進

本市では、日本サッカー協会が推進している「こころのプロジェクト『夢の教室』」事業を平成23年度より実施しており、市内小学校にトップアスリートを招き、トップアスリートと一緒にゲームをしたり、経験談に基づく夢に関する授業を行っています。

この事業を通じて、子どもたちは、目標達成のために自分たちで工夫することや挑戦することの大切さを学んだり、自らの夢を思い描き、その実現に向けて何をすべきかを考えています。こうした、スポーツを通じて、子どもたちが自分の夢を見つけて、その実現に向けて走り出す後押しをしています。

また、中津川市に在住する中学生以下の子どもたちを対象に、表彰委員会が定めるスポーツや文化の事業及び県大会での優勝ならびに全国大会で入賞を収めた個人及び団体に、その頑張りを称えて「中津川市子ども金メダル」を贈呈しています。子どもたちの“自信”と“誇り”、豊かな心を育むとともに、地域ぐるみで未来を担う子どもたちを育成していきます。



■ 「こころのプロジェクト『夢の教室』」の様子



■ 「中津川市子ども金メダル」事業
(左：授与式の様子、右：中津川市産オリジナル金メダル)

施策方針 2 成人期におけるスポーツ機会の充実

アンケート調査の結果から、運動やスポーツを行っていないという人が約 46%おり、その理由としては、仕事や家事などで時間がない、スポーツを行うきっかけがないというものでした。また、スポーツを行っている人も、時間や近くに施設があれば、より定期的にスポーツに親しみたいと考えています。

市民一人ひとりがライフステージに合ったスポーツを取り入れてもらえるよう、スポーツに親しむ機会を充実させるとともに、まずはスポーツの楽しさ、健康増進につながる効果などを体験・体感してもらう機会の充実を図ります。

(1) スポーツを楽しむきっかけづくり

アンケート調査の結果から、運動やスポーツを行うことができなかった理由として、忙しくて時間がない、仕事や家事で疲れているといった理由のほかに、機会がなかったという回答も多く挙げられました。

自身の健康づくりや同年代の仲間づくりなど、これまでスポーツを行ってこなかった人に対し、スポーツを体験してみよう・参加してみようと思えるようなスポーツ教室・行事の充実など、スポーツを楽しむきっかけづくりを推進します。

(2) ライフステージに応じた多様なスポーツ機会の充実

前述のとおり、成人期の方にとっては、仕事や家事によってスポーツに親しむ時間が制限されていることが考えられます。

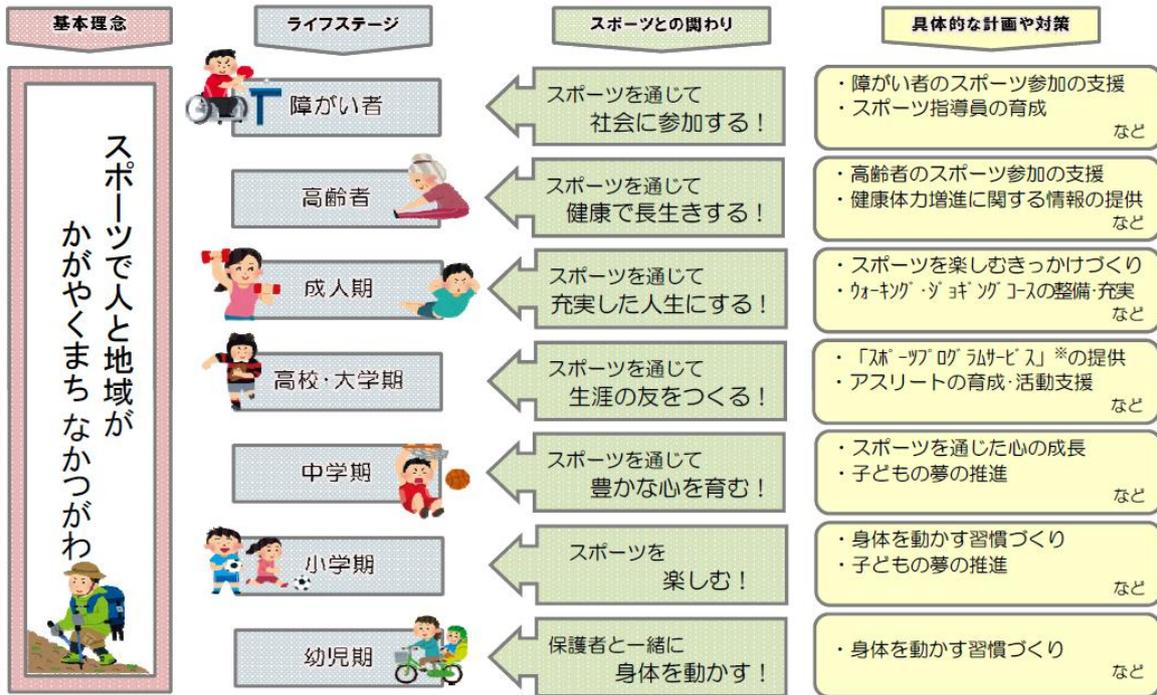
例えば、乳幼児の子育てをしている女性を対象に、中津川市児童館・児童センターや子育て支援センター等で、親子でふれあいながら身体を動かすことができる運動教室の開催や、仕事終わりに立ち寄ることができるスポーツ教室やスポーツ施設の充実、女性や若者といった特定の年齢を対象としたスポーツ教室やイベントの実施など、ライフステージに応じた多様なスポーツ機会の充実を図ります。

(P40「ライフステージに応じた運動・スポーツとの関わり」を参照)



■子育てまつりの様子（2013 第 1 回子育てまつり）

ライフステージに応じた運動・スポーツとの関わり



※「スポーツプログラムサービス」P42参照

■ライフステージに応じた運動・スポーツとの関わりのイメージ

(3) スポーツを通じた健康づくりの推進

健康に対する関心の高まりから、スポーツを実践する人の数は近年増え続けています。健康意識を高め、身体活動を活発にすることは健康づくりを進めることにつながります。本市では、市民の健康を増進し、健康寿命の延伸を図るために健康づくりの計画「健康なかつがわ 21(第二次)」を策定しています。計画の中の「生活習慣の改善」で、市民の身体活動や運動・スポーツについての意識や態度が改善され、より多くの市民が体力づくり、健康増進のために身体活動やスポーツを実践するようになることを目指しています。

さらに、「中津川市健康づくり推進条例」の制定や「健康都市なかつがわ宣言」によりライフステージに応じた市民一人ひとりの主体的な健康づくりの取り組みを支援し、すべての市民が健康寿命を延ばし、生涯にわたり健康でいきいき心豊かに暮らしていけるまちづくりを推進します。

「中津川市健康づくり推進条例」

生涯にわたり健やかでいきいきと心豊かに暮らしていくことは、すべての市民の願いです。その願いを叶えるには、一人ひとりが、日ごろの運動や食生活等が自らの健康に及ぼす影響を自覚し、自らが進んで生活習慣の改善に取り組み、体や心の健康の保持と増進に努めなければなりません。そして、その取組みを社会全体で支援していくことが必要です。すべての市民が、いつまでも健康で幸せに暮らせる中津川市をつくるために、この条例を定めます。

■「中津川市健康づくり推進条例 前文」

「健康都市なかつがわ宣言」

やすらげる自然に包まれたこのまちで、みんなが健康でいきいきと暮らし続けることは私たちの願いです。私たちは、「自らの健康は自らがつくる」を基本に、子どもからお年寄りまで、すべての市民がいつまでも健康で幸せに暮らせる中津川をつくるために、ここに「健康都市なかつがわ」を宣言します。

- 一、安全で美味しい地元の食材を利用して、バランスのよい食事を楽しみます
- 一、豊かな自然と美しい景観に親しみながら、楽しく身体を動かします
- 一、趣味や特技で生きがいづくり、地域のきずなも大切に心の健康をめざします

■「健康都市なかつがわ宣言」

(4) 「スポーツプログラムサービス」の提供

地域で行われるスポーツプログラムには、種目別の大会やスポーツイベント、スポーツ教室、体力テストなど、多様なプログラムが存在しています。こうしたプログラムを、市民の目的や運動レベルに応じて、適切なタイプを選び、組み合わせて提供する「スポーツプログラムサービス」に取り組みます。

また、プログラム前の練習やプログラム後の運動継続につながるよう、多様なタイプのプログラムを時系列的に組み合わせるなど、効果的な提供を検討します。

【スポーツプログラムサービスの例】

例1) 各種スポーツ教室やスポーツイベントの開催に合わせて、軽スポーツの講習会などを開催する

例2) 少年野球教室の開催に合わせて、スポーツ講演会を開催する

タイプ	特性
1. 競技プログラム	競う（競争・競技・記録）
2. レクリエーションプログラム	運動すること自体を楽しむ 集い交わることを楽しむ
3. 学習プログラム	学ぶ・高める
4. テストプログラム	試す・確かめる
5. トレーニングプログラム	体を鍛える・健康度を高める
6. 発表プログラム	発表・観る・鑑賞する

■ スポーツプログラムサービスのタイプ

出典：公益財団法人全国スポーツ推進委員連合機関誌「みんなのスポーツ」

施策方針 3 高齢者、障がい者のスポーツ活動の推進

生涯にわたって市民がいきいきと暮らすためには、スポーツを通じた健康増進や体力づくりだけでなく、スポーツが生きがいや社会参加の手段となることが重要です。また、スポーツ基本法においても、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利である」とされています。

高齢者や障がい者の健康増進や生きがいづくりなどを目的として、気軽に参加でき、楽しみながら続けることのできるスポーツの活動の推進を図ります。

(1) 高齢者のスポーツ参加の支援

高齢者の介護予防を目的として、運動機能向上のための筋力・柔軟性を高めるストレッチなどを取り入れた運動教室（リハビリ教室）や、体操とレクリエーションを取り入れた運動教室などを開催します。

また、健康づくりの推進を目的とした全国還暦マラソン杖の湖、ウォーキング大会やゲートボール大会、マレットゴルフ大会、シルバースポーツ大会等の各種スポーツ大会の開催を支援します。

さらに、各地区の公民館講座で高齢者を対象とした健康づくり教室を開催します。



■ 第 19 回全国還暦マラソン杖の湖 14 大会の様子
出典：やさか観光協会 HP



■ マレットゴルフの様子

(2) 障がい者のスポーツ参加の支援

障がい者がスポーツ・レクリエーションに関心を持ち、取り組むきっかけとなるよう、障がい者と健常者が取り組めるようなスポーツ・レクリエーション教室やイベントを企画・開催します。

また、既存のスポーツ施設において、障がいの有無に関わらず誰もが利用できるトイレ等の整備や、障がい者施設において、気軽に身体を動かすことができる運動器具等の設置などを推進し、障がい者がスポーツに参加しやすい場や機会を確保します。

岐阜県及び岐阜県身体障害者スポーツ協会は、県下の身体障がい者の社会参加並びに健康増進のために、圏域毎に毎年体育大会を開催しています。

東濃ブロック体育大会では、東濃5市の対抗戦で、陸上競技（競争・跳躍・投てき）やフライングディスク競技（ディスタンス・アキュラシー）が行われており、陸上競技の上位入賞者は、選考会を経て県大会や国体への道を開くこともできます。

市では、今後も岐阜県身体障害者スポーツ協会と調整を図りながら、障がい者スポーツの普及並びに推進を行います。



■岐阜県身体障がい者東濃ブロック体育大会の様子

施策方針 4 競技スポーツの振興

スポーツは、体力の向上や健康増進のほか、目標を設定し、その目標に向けて挑戦をする喜び、達成する喜び、達成できなかった悔しさなど、精神の修養にもつながります。また、他者を思いやる心の成長にもつながります。

アスリートの育成や活動の支援のほか、プロスポーツなどの優れたスポーツを観る・ふれあう機会の充実などにより、競技スポーツ意識の高揚を図ります。

(1) アスリートの育成・活動支援

中津川市はトップクラスのスポーツ施設を有しており、こうした環境を活かし、競技スポーツの指導を充実させるとともに、中津川市体育協会等のスポーツ関係団体や障がい者団体との連携により、アスリートの育成や活動を支援します。

また、優れた成績・功績をもって、市、県又は国の代表として国際規模又は全国規模の大会等に出場する個人又は団体に対し、「中津川市ひとつくり激励金」を交付し、その活動を支援します。

(2) 優れたスポーツを観る・ふれる機会の充実

優れたスポーツを観たりふれたりすることは、子どもたちやアスリートにとって憧れや目標を抱く機会になり、競技力向上にもつながります。

市内在住のトップアスリートの理解・協力によるスポーツ教室の開催や、こころのプロジェクト「夢の教室」などにより、子どもたちがトップアスリートと一緒にスポーツをしたり、学んだりする機会の提供を推進します。また、プロスポーツをはじめとする優れたスポーツを観る・ふれる機会の充実を図ります。

(3) 競技スポーツ意識の高揚

2020年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を機会に、スポーツ関係団体と連携し、市民の競技スポーツ意識の高揚を図ります。



■ オール早慶野球戦 in 中津川
での交流の様子



■ 「こころのプロジェクト『夢の教室』」
での授業の様子



基本方針 2 スポーツを通じた地域づくりの推進

施策方針 1 スポーツ推進委員の活動支援

スポーツ基本法において、スポーツ推進委員は、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整、スポーツの実技の指導など、スポーツに関する指導・助言を行うものとされており、本市においても地域のスポーツ活動の推進を担う人材・組織として期待されています。

スポーツ推進委員が活動しやすい環境づくりに努めます。

(1) スポーツ推進委員の育成及び活動しやすい環境の整備

スポーツ推進委員は、それぞれの選出支部及び地域でのスポーツ活動の推進はもとより、市内広域にわたるスポーツ推進の役割を担っています。

また、地域との連絡調整の役割や活動内容を広く市民に知っていただくとともに、活動を支援する目的として、各地域で密着した活動が行える支援及び活動しやすいネットワークの構築に努めます。

市では「一市民 1 スポーツ」の推進のための指導や助言、ニュースポーツの紹介や普及などの活動を促進するため、スポーツ推進委員の研修機会の充実や、活動にあたってのスポーツ施設等の提供といった支援を行います。また、地域スポーツ活動の核となる総合型地域スポーツクラブや各種団体との連絡調整の場を計画し、協力体制の強化と連携を図ります。



■ スポーツ推進委員の活動風景

〔 左上：ドッチビー教室の様子、 右上：ビーチボール大会の様子
〔 左下：キンボール教室の様子、 右下：軽スポーツ教室の様子 〕

施策方針 2 総合型地域スポーツクラブの活動支援

本市には、現在 5 つの総合型地域スポーツクラブが活動を行っております。総合型地域スポーツクラブについては、その存在が十分に認知されていないものの、参加したいと考えている市民が 4 割程度いるなど、地域のスポーツ活動の推進にあたって大きな役割を担っています。

新たに設立を目指す総合型地域スポーツクラブの設立支援を行うとともに、既存のクラブ活動の支援を行います。

(1) 総合型地域スポーツクラブの充実（設立支援）

本市では、阿木あんきスポーツ倶楽部、認定 NPO 法人つけちスポーツクラブ、蛭川なんじやもんじゃクラブ、NPO 法人やさかイキイキ倶楽部が活動を行っており、新たに中津地区を対象とした Viva! 中津川が設立されました。

スポーツ推進委員と同様に、地域のスポーツ活動の担い手として、総合型地域スポーツクラブの設立支援を行います。

(2) 総合型地域スポーツクラブの活動支援

アンケート調査の結果では、認知度はまだまだ低い状況にありますが、地域に根差したスポーツ活動の拠点として、各種の事業・教室開催に伴う活動や指定管理者制度への参画を促進することで、総合型地域スポーツクラブの活動支援を行います。



■認定 NPO 法人つけちスポーツクラブの HP



■NPO 法人やさかイキイキ倶楽部の HP

施策方針 3 地域のスポーツ活動の推進

本市では、各地域に昔からのコミュニティが息づいており、地域単位で行われている区民運動会やスポーツ行事などは、コミュニティの醸成に大きな役割を果たしています。

スポーツを通じた地域づくりに向け、このような区民運動会やスポーツ行事を継続していくとともに、企業や大学との連携によって、より市民が参加しやすい仕組みをつくっていきます。また、本市の豊かな自然資源や文化資源を活用したスポーツ活動の推進を図ります。

(1) 区民運動会・スポーツ行事の開催

本市では、地域ごとに区民ソフトボール大会や区民マレットゴルフ大会などのスポーツ行事が行われています。また、地域内の交流とコミュニティ及び親睦を図る目的で区民運動会が行われています。

少子高齢化の影響もあり、年々区民運動会やスポーツ行事への参加者数は減少しているものの、区民のニーズに応じた種目や開催方法を見直すことなどにより、区民運動会やスポーツ行事を継続して開催するとともに、区民の参加を促進します。



■ 区民運動会の様子
(上：蛭川地区、中：川上地区、下：坂本地区)

(2) 地域スポーツと企業・大学との連携

近年、地域でのスポーツイベントに対して、広告の掲載や物品の提供等による協賛という形だけでなく、組織活性化の手段の一つとしてスポーツイベントに参加する企業が増加しています。

また、本市にキャンパスを置く中京学院大学では、地域貢献の一環として、市内中学校を対象に、軟式野球部の監督・選手による地域スポーツ指導を実施しています。

このように、市内の企業や市に関わりのある中京学院大学・至学館大学等^{*}と連携し、地域のスポーツ活動の活性化を図ります。

※地域の発展と優れた人材の育成を目的に、中津川市と相互連携協定を締結

中京学院大学（中津川市）	H25.2.12
至学館大学（愛知県大府市）	H27.3.2

(3) 地域資源を生かしたスポーツ活動の推進

本市には、日本百名山の恵那山をはじめとした山々と、清流木曾川、付知川など豊かな自然資源に恵まれています。また、歴史文化資源として中山道の馬籠宿、落合宿、中津川宿の三宿があり、街道文化が栄えたまちとして今でも市内外から多くの観光客が訪れています。

こうした自然資源や歴史文化資源を活用したトレッキングや登山またウォーキングを楽しむなど、地域資源を生かしたスポーツ活動を推進します。



■雪化粧をした恵那山



■中山道馬籠宿の「皇女和宮降嫁行列」



■秋の付知峡

基本方針3 スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実



施策方針1 スポーツ施設・設備の整備・充実

本市には充実したスポーツ環境が整っていますが、市民がこうした施設を今以上に利用し、スポーツに親しむために、施設の適切な維持管理が求められます。

「市有財産（施設）運用管理マスタープラン」に基づく施設管理を行うとともに、市民が安心・安全にスポーツを楽しめる環境の維持を図ります。また、身近に取り組める運動・スポーツとして、ウォーキングやジョギングを楽しめる環境の整備や、スポーツ施設を有効活用したまちの活性化についても検討します。

(1) 安心・安全なスポーツ環境の維持

既存のスポーツ施設について、利用者の安全性と利便性を十分に考慮し、施設や設備、運動器具等の定期的な点検・整備を行い、必要に応じて、計画的に修繕・改修などを推進することで、安心・安全なスポーツ環境の維持に努めます。

(2) ウォーキング・ジョギングコースの整備・充実

現在、市の総合スポーツ施設である中津川公園内には、全長約2.8kmのウォーキング・ジョギングコースが整備されています。アンケート調査の結果から、ジョギングやウォーキングへの取組意向が高かったことを受け、スポーツに親しみ楽しむ市民を増やすため、各地域で信号機が少なく、夜間でも安全な道を中心にウォーキング・ジョギングコースの設定を積極的に行い、地域の人々が身近で気軽にスポーツ活動に取り組める環境整備に努めます。

(3) スポーツツーリズムの拠点としての活用

近年、「スポーツで旅を楽しむ」あるいは「旅でスポーツを楽しむ」といった、スポーツと観光を融合し、新しい価値、新しい感動の提供をめざすスポーツツーリズムという動きが活発になっています。

本市には、中津川公園に充実した各種スポーツ施設を備えた運動公園があります。中央自動車道中津川インターチェンジから近いという好立地と、県内有数の総合運動公園を活用して、一流選手による試合の誘致や合宿などのほか、各種スポーツ大会やイベント開催の取り組みを検討します。

(4) 「市有財産（施設）運用管理マスタープラン」に基づく施設管理

市では、少子高齢化による市民ニーズの移り変わりや、市有施設・設備の老朽化などを背景に、平成26年3月に「市有財産（施設）運用管理マスタープラン」を策定しました。

スポーツ施設についても、施設の維持や地域への移譲、他の施設との複合化による効率的な維持管理と利用促進等の再編方針が示されており、同方針に基づくスポーツ施設の適切な維持管理を推進します。

施策方針 2 スポーツ施設の利用促進

スポーツ施設の利用促進にあたっては、利用者である市民のニーズを把握し、ニーズに応じた利用促進を図ることが重要です。

既存施設については、地域・関係団体による指定管理の導入を検討し、スポーツ施設を市の財産、つまり、自分たちの財産であるという認識のもと、効率よく活用してもらえる仕組みを導入します。また、市民のニーズを把握し、利用料金や予約方法などの利用方法の見直しや地域コミュニティの核となる学校開放施設の活用推進などに取り組みます。

(1) 地域・関係団体による指定管理

市民の利用ニーズに応じた適切な維持管理を進めるため、地域・関係団体による指定管理を促進します。

(2) 学校開放施設の活用推進

市では、学校教育活動に支障のない時間帯に、学校施設を地域住民の文化・スポーツ活動に活用する学校開放を行っています。

中津地区の学校開放施設については、ほぼ毎日、夜間まで多くの市民に使用されており、施設利用への需要も大きいことから、今後も学校開放施設の活用推進を図っていきます。

学校名	施設	問い合わせ	学校名	施設	問い合わせ																																																																																																																									
東小学校	体育館	中央公民館 (0573)66-4141	山口小学校	体育館	山口総合事務所 (0573)75-2126																																																																																																																									
	会議室			グラウンド		南小学校	体育館	中央公民館 (0573)66-4141	坂下小学校	体育館	坂下総合体育館 (0573)75-3335	音楽室	グラウンド	調理室	坂下中学校	グラウンド	多目的室	川上小学校	体育館	川上総合事務所 (0573)74-2111	西小学校	体育館	中央公民館 (0573)66-4141	高山小学校	音楽室	福岡 B&G 海洋センター (0573)72-2654	体育館	体育館	第一中学校	グラウンド	福岡小学校	グラウンド	音楽室	福岡小学校	体育館	下野小学校	体育館	調理室	グラウンド	グラウンド	第二中学校	体育館	中央公民館 (0573)66-4141	田瀬小学校	体育館	付知 B&G 海洋センター (0573)82-2005	ワークスペース	福岡中学校	体育館	苗木小学校	体育館	苗木事務所 (0573)66-1301	福岡中学校	グラウンド	付知 B&G 海洋センター (0573)82-2005	グラウンド	付知北小学校	体育館	苗木中学校	体育館	苗木事務所 (0573)66-1301	付知北小学校	グラウンド	付知 B&G 海洋センター (0573)82-2005	グラウンド	付知南小学校	体育館	坂本小学校	体育館	坂本事務所 (0573)68-2001	付知南小学校	グラウンド	付知 B&G 海洋センター (0573)82-2005	グラウンド	付知中学校	体育館	坂本中学校	体育館	坂本事務所 (0573)68-2001	付知中学校	グラウンド	付知 B&G 海洋センター (0573)82-2005	グラウンド	加子母小学校	体育館	落合小学校	体育館	落合事務所 (0573)69-3201	加子母小学校	グラウンド	加子母 B&G 海洋センター (0573)79-3260	グラウンド	加子母中学校	体育館	落合中学校	体育館	落合事務所 (0573)69-3201	加子母中学校	グラウンド	加子母 B&G 海洋センター (0573)79-3260	グラウンド	蛭川小学校	体育館	阿木小学校	グラウンド	阿木事務所 (0573)63-2001	蛭川小学校	卓球室	蛭川総合事務所 (0573)45-2211	阿木中学校	体育館	阿木事務所 (0573)63-2001	蛭川中学校	体育館	阿木高校	体育館	阿木事務所 (0573)63-2001	蛭川中学校	グラウンド	蛭川総合事務所 (0573)45-2211	神坂小学校	グラウンド	神坂事務所 (0573)69-4111	神坂中学校	体育館	神坂中学校
南小学校	体育館	中央公民館 (0573)66-4141	坂下小学校	体育館	坂下総合体育館 (0573)75-3335																																																																																																																									
	音楽室			グラウンド																																																																																																																										
	調理室		坂下中学校	グラウンド																																																																																																																										
	多目的室		川上小学校	体育館	川上総合事務所 (0573)74-2111																																																																																																																									
西小学校	体育館	中央公民館 (0573)66-4141	高山小学校	音楽室		福岡 B&G 海洋センター (0573)72-2654																																																																																																																								
	体育館			体育館																																																																																																																										
	第一中学校		グラウンド	福岡小学校	グラウンド																																																																																																																									
	音楽室		福岡小学校	体育館	下野小学校	体育館																																																																																																																								
調理室	グラウンド	グラウンド																																																																																																																												
第二中学校	体育館	中央公民館 (0573)66-4141	田瀬小学校	体育館	付知 B&G 海洋センター (0573)82-2005																																																																																																																									
	ワークスペース			福岡中学校		体育館																																																																																																																								
苗木小学校	体育館	苗木事務所 (0573)66-1301	福岡中学校	グラウンド	付知 B&G 海洋センター (0573)82-2005																																																																																																																									
	グラウンド			付知北小学校		体育館																																																																																																																								
苗木中学校	体育館	苗木事務所 (0573)66-1301	付知北小学校	グラウンド	付知 B&G 海洋センター (0573)82-2005																																																																																																																									
	グラウンド			付知南小学校		体育館																																																																																																																								
坂本小学校	体育館	坂本事務所 (0573)68-2001	付知南小学校	グラウンド	付知 B&G 海洋センター (0573)82-2005																																																																																																																									
	グラウンド			付知中学校		体育館																																																																																																																								
坂本中学校	体育館	坂本事務所 (0573)68-2001	付知中学校	グラウンド	付知 B&G 海洋センター (0573)82-2005																																																																																																																									
	グラウンド			加子母小学校		体育館																																																																																																																								
落合小学校	体育館	落合事務所 (0573)69-3201	加子母小学校	グラウンド	加子母 B&G 海洋センター (0573)79-3260																																																																																																																									
	グラウンド			加子母中学校		体育館																																																																																																																								
落合中学校	体育館	落合事務所 (0573)69-3201	加子母中学校	グラウンド	加子母 B&G 海洋センター (0573)79-3260																																																																																																																									
	グラウンド			蛭川小学校		体育館																																																																																																																								
阿木小学校	グラウンド	阿木事務所 (0573)63-2001	蛭川小学校	卓球室	蛭川総合事務所 (0573)45-2211																																																																																																																									
阿木中学校	体育館	阿木事務所 (0573)63-2001		蛭川中学校		体育館																																																																																																																								
阿木高校	体育館		阿木事務所 (0573)63-2001	蛭川中学校	グラウンド	蛭川総合事務所 (0573)45-2211																																																																																																																								
神坂小学校	グラウンド	神坂事務所 (0573)69-4111			神坂中学校		体育館																																																																																																																							
神坂中学校	体育館		神坂事務所 (0573)69-4111	神坂中学校		グラウンド																																																																																																																								

■学校開放施設一覧

(3) 利用者ニーズに応じた施設利用方法の見直し

スポーツ施設の利用人数・稼働率をみると、サンライフ中津川や各地域の B&G 海洋センター等の体育館の利用が多くなっています。また、アンケート調査結果においても、室内運動器具を使った運動やバドミントンといった室内でのスポーツへの取組志向が高くなっており、より多くの方にこうしたスポーツ施設を利用していただくため、体育館の各コートの共有使用など、利用者ニーズに応じた施設利用方法の見直しを図ります。

(4) スポーツ施設の利用料金の見直し

スポーツ施設の利用料金については、適当であるという声が多くあるものの、高いという意見も一定数みられました。また、市の附属機関や学校、中学生以下の子どもの団体等が利用する場合の全額減免を行っており、減免に対しては肯定的な意見が多いものの、市の財政状況から、スポーツ施設の利用料金の見直しを検討していきます。

施策方針 3 スポーツ団体・指導者の支援・育成

これまで、スポーツ団体やスポーツ指導者には、高い指導技術や専門知識、実技技能が求められ、主に競技力の向上のために活躍してきました。現在では、競技力向上のための高い技術指導ができる指導者だけでなく、スポーツの楽しみ方や興味・関心のわく指導ができる指導者、健康づくり・体力向上のための指導ができる指導者、さらには、技術面だけでなく、精神面での指導ができる指導者が求められるなど、スポーツ指導者・関係団体への欲求は大きく、また、多様になっています。

スポーツ関係団体や指導者の育成だけでなく、団体間や指導者間での情報交換・交流を促進し、相互に高め合う仕組みを構築します。

(1) スポーツ関係団体の活動支援

中津川市体育協会の加盟団体やスポーツ少年団等の関係団体が開催するスポーツ行事等への支援を行うとともに、連携の強化を図り、市民がスポーツに親しめる環境の充実を図ります。

(2) スポーツ関係団体の交流、情報交換の促進

スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ関係団体など、本市のスポーツ活動の推進を担う人材・組織間の交流を促進し、市民へのスポーツ活動の普及に関する手段や課題などについての情報を共有し、より効果的なスポーツ活動の推進を図ります。

(3) スポーツ指導者登録バンクの活用

中津川市では、現在スポーツ指導者登録システムを導入していない状況で、学校部活動におけるスポーツ指導者が不足しています。既存の「小中学校講師と指導補助人材バンク」の活用も含め、今後スポーツ指導者の登録バンクの設置を行い、スポーツ指導者等の派遣推進を図ります。

(4) スポーツ指導者の育成

スポーツ指導者には、競技力向上のための高い技術指導だけでなく、スポーツの楽しみ方や興味・関心のわく指導や、技術面と精神面の両面での指導ができる指導者が求められています。

現在活動しているスポーツ指導者の方への研修機会の提供や、新たなスポーツ指導者及びスポーツボランティアの発掘・育成を推進します。



■ バドミントン協会の活動の様子



■ バスケットボール協会の活動の様子

本県では、2012年の9月～10月に「第67回国民体育大会（ぎふ清流国体）」が開催されました（冬季大会は2012年の1月～2月に開催）。

本市では、中津川公園内にある東美濃ふれあいセンターにおいてレスリング競技が行われました。

心をひとつに 日本再生

ぎふ清流国体

輝けはばたけだれもが主役

東日本大震災復興支援

第67回国民体育大会

冬季大会：スピードスケート 2012年1月28日(土)～1月31日(火)
 スキー 2012年2月14日(火)～2月17日(金)

本大会：2012年9月29日(土)～10月9日(火) →

心をひとつに 日本再生

ぎふ清流大会

輝けはばたけだれもが主役

東日本大震災復興支援

第12回全国障害者スポーツ大会

会期：2012年10月13日(土)～10月15日(月) →



■ 東美濃ふれあいセンターにおけるレスリング競技の様子



施策方針 4 スポーツに関する情報やニーズの把握と活用

オリンピック・パラリンピックやサッカーワールドカップなどの世界大会をはじめ、プロスポーツ選手の活躍は、私たちに感動を与えてくれるとともに、そのスポーツへの興味・関心を引き立たせます。このように、市民のスポーツに関するニーズは一定ではなく、常に変化を続けています。

こうした市民ニーズを的確に把握するとともに、市民が求めている情報を、市民が入手しやすい方法で発信することが求められています。

(1) スポーツに関する情報の集約と活用

本市では、各地域にある総合事務所・地域事務所を拠点として、各種スポーツ教室やスポーツ行事を実施しています。また、文化スポーツ部だけでなく、教育委員会、健康福祉部、商工観光部といった庁内関係部のほか、市内の総合型地域スポーツクラブ等においても、スポーツや親子でのふれあいあそび等に関する事業を実施しています。

こうしたスポーツに関する情報を集約し、市民に、いつ・どこで・どのようなスポーツが行われているのかが分かりやすいように提供することで、市民のスポーツ活動を推進します。

(2) スポーツに関する市民ニーズの把握

オリンピック・パラリンピックやサッカーワールドカップなどのスポーツの祭典、トップアスリートの世界的な活躍などは、そのスポーツへの興味・関心を引き立たせます。

スポーツ活動の推進にあたり、市民が参加・体験してみたいスポーツ活動などを把握し、市民のニーズに応じたスポーツ活動の機会の提供の充実に反映させます。

(3) 情報提供の充実

現在、市ホームページや広報なかつがわにおいて、スポーツ活動に関する情報提供を実施しています。

今後は、Facebook や Twitter といったソーシャルメディアを活用するなど、情報提供の充実に努めます。

(4) 健康体力増進に関する情報の提供

アンケート調査の結果から、スポーツに関する情報として、スポーツ施設の紹介や利用方法の案内、スポーツ教室や行事の紹介といった情報に加え、健康や体力の増進に関する情報についても需要が高いことが分かりました。

健康福祉部や健康推進員とも連携し、健康づくりや体力増進に関する情報の提供を推進します。

第8回島崎藤村記念 文芸祭入選作品展

市内をはじめ全国から応募された文芸作品に触れ、文芸の魅力を感じてください。

期 間 11月15日(土)～12月14日(日)
会 場 中央公民館
部 門 現代詩・短歌・俳句・エッセイ
島崎藤村記念文芸祭実行委員会事務局
(文化振興課内) (☎内線4318)



Information

**清流ともみじの里
川上であそび大会**
紅葉と滝めぐりを楽しみながら歩きましょう。

と き 11月16日(日)
8時30分受付開始
集 合 場 所 Y.O.U遊広場
(夕森公園)
参 加 費 大人500円
小人200円
(保険料含む)
コ ー ス
・ロングコース7.3キロ
・ショートコース4.1キロ

**やさか地区ひまわりの会
チャリティーバザー**
と き 11月16日(日) 11時～14時
と ころ 坂下総合体育館



苗木健康マラソン大会
と き 11月30日(日)
受付8時30分～9時30分
集 合 場 所
苗木小学校グラウンド

種 目
・2キロ (保育・幼稚園親子)
・3キロ (一般男女など)
・5キロ (一般男女など)
・8キロ (一般男子)
参 加 費 500円(当日徴収)
(小・中学生、保育・幼稚園親子は無料)
申 込 期 限 11月21日(金)
☎661301 苗木事務局

持 ち 物 飲み物、雨具
※申込当日受付、雨天決行
観 光 課
(☎内線4273)

スマホで
読もう!
広報紙をもっと身近に
| 広報紙

広報なかつがわの アプリ配信をはじめました!

スマートフォンなどで使えるアプリ「広報紙」で
広報なかつがわをいつでもどこでも読むことができます。

- アプリで読むには**
- App Store・Google Playから「広報紙」を検索し、ダウンロード。 → お住まいの地域ほか簡単な設定をします。 → 最新の広報紙が配信されます。
- おすすめポイント**
- ① **コンテンツ** ... ホーム画面からタッチ1つで最新号を閲覧できます。
 - ② **スクラップ** ... 気になる記事は画像として保存。そのままメールやSNSでシェアできます。
 - ③ **プッシュ通知** ... 発行日の通知が直接アプリに届きます。
- ※このアプリでご覧いただくと、市とは関係のない広告が表示されます。



☎661315 広報広聴課 (☎内線315)
☎ 広報紙の利用やシステムについては樹ホープ (☎092-716-1404)

■ 広報なかつがわによる情報提供 (広報なかつがわ 2014年11月号)

第6章 計画の推進に向けて



1. 計画の推進体制

(1) スポーツ関係団体・企業・大学との連携

市民が自身のライフステージに適したスポーツを選択して取り組むことができるよう、また、特に若い人や成人期の方にもスポーツに親しんでもらえるよう、既存のスポーツ関係団体だけでなく、企業や大学とも連携し、計画を推進します。

(2) 庁内関係部等との連携

本計画で取り扱うスポーツに関する取り組みは、生涯学習、学校教育、子育て支援、健康、障がい者福祉、高齢者福祉、都市整備等の多岐の分野にわたっています。文化スポーツ部が中心となり、庁内関係部等との連携を図りながら、計画を推進します。

(3) 国や県、周辺自治体との連携

国や県との情報共有を図りながら、各種スポーツ事業に連携して取り組むなど、市民が様々な運動・スポーツ活動を行いやすい環境づくりを目指します。また、周辺の自治体との連携も促進し、スポーツ教室や大会の共同開催や情報交換などの連携を図ります。

2. 計画の評価及び見直し



基本理念の実現に向けて、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、見直し（Action）のPDCAサイクルに基づいて本計画を推進し、取組状況の適切な評価及びそれに伴う見直しを図ることとします。

具体的には、各種施策の進捗状況を毎年確認するとともに、中間年である平成32年度には、数値目標であるスポーツ実施率を把握し、社会情勢の変化や市民の意向等の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行うこととします。

資料編



1. 計画の策定経緯

日時	内容
平成 25 年 10 月	スポーツに関するアンケート調査の実施
平成 26 年 8 月	第 1 回策定委員会 ・ 委嘱書の交付（正、副委員長選任） ・ 事業概要説明（スケジュール案報告）
平成 26 年 9 月	ヒアリング調査の実施（各関係者団体・関係部署）
平成 26 年 10 月	第 2 回策定委員会 ・ アンケート調査結果について ・ 骨子確認について 他
平成 26 年 12 月	第 3 回策定委員会 ・ 計画素案確認について ・ パブリックコメントについて 他
平成 27 年 1 月	パブリックコメントの実施（1/14～27 14 日間）
平成 27 年 2 月	第 4 回策定委員会 ・ パブリックコメント結果について ・ 今後のスケジュールについて 他
平成 27 年 3 月	中津川市教育委員会定例会 議案承認
	第 5 回策定委員会 ・ 計画書完成について



2. 計画の策定体制

(1) 中津川市スポーツ推進計画策定委員会

役職	氏名	所属	委嘱区分
委員長	丸山 充信	NPO法人中津川市体育協会 会長	社会体育団体
副委員長	伊藤 広幸	中津川市スポーツ推進委員 会長	
委員	田口 郁代	中津川市スポーツ推進委員 女性部	
委員	曾我 啓次	認定NPO法人つけちスポーツクラブ 理事長	
委員	日室 年通	中津川市スポーツ少年団 本部長	
委員	齊藤 信夫	中津川市レクリエーション協会 代表	
委員	松田 正義	中津川市老人クラブ連合会 会長	関係団体
委員	可知 孝次	岐阜県身体障害者福祉協会中津川市支部 支部長	
委員	石川 哲也	中京学院大学 専任講師	学識経験者
委員	小幡 隆徳	中津川市教育委員会 教育委員長	
委員	垂見 真由子	国保坂下病院 健康運動指導士	健康・医療関係
委員	原 嘉幸	中津川市中学校体育連盟会長（加子母中学校長）	学校体育関係



■ 第5回中津川市スポーツ推進計画策定委員会の様子

3. アンケート調査票



スポーツに関するアンケート調査のお願い

日ごろは、当市のスポーツ推進にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。さて、平成23年8月に「スポーツ基本法」が制定され、国民のスポーツ振興策が定められました。

そこで、当市のスポーツ振興の基本的な方針となる「中津川市スポーツ振興計画（仮称）」を策定し、総合的かつ計画的にスポーツの振興に取り組んで参りたいと考えております。

つきましては、計画策定にあたり、本市のスポーツの現状、課題や感想をお伺いし、計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施することといたしました。

実施にあたっては、20歳以上の市民で、地域別、年齢等を考慮し約2,000人を無作為で抽出して配付しています。この調査は、個人を特定しませんので、個人情報が増えることは一切ありません。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

平成25年10月
中津川市長 青山節児

<ご記入にあたって>

- この調査は、個人の方を対象にしています。あなた（封筒あて名の方）ご自身の考えをお答えください。代筆は可。
- 問いに対する答えは、あてはまる番号を の中にご記入ください。また、答えの数は1つだけのもの、複数を選ぶものがありますのでご注意ください。回答で「その他」に該当する場合は、（ ）内もご記入ください。
- 一部の方だけに答えていただく質問もあります。その場合は、説明にしたがってお答えください。
- 記入は、黒のボールペン又は鉛筆をお願いします。
- 提出は、同封の返信用封筒（切手不要）にて、10月25日（金）までにポストに投函して下さるようお願いいたします。

【問い合わせ先】

〒508-0032 中津川市栄町1番1号（中津川市にぎわいプラザ内）
中津川市文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課（担当：松井・糸魚川）
TEL0573-66-1111 FAX0573-65-5795

スポーツに関するアンケート調査票【投函期限：10月25日】

※ あてはまる番号を の中にご記入ください。（記入例）

※ 「その他」は（ ）内もご記入ください。

問1 性別をご記入ください。
(1)男 (2)女

問2 年代をご記入ください。
(1)20歳代 (2)30歳代 (3)40歳代
(4)50歳代 (5)60歳代 (6)70歳以上

問3 住んでいる地区を次の中から選んでください。
(1)中津地区 (2)苗木地区 (3)坂本地区 (4)落合地区
(5)阿木地区 (6)神坂地区 (7)山口地区 (8)坂下地区
(9)川上地区 (10)加子母地区 (11)付知地区 (12)福岡地区 (13)蛭川地区

問4 この1年間に何かスポーツや運動をしましたか。 →2を選んだ方は
(1)した (2)しなかった 下記から選んで下さい

↓
↓

【主なもの2つ以内】

- (A)いそがしくて時間がない (B)機会がない (C)仕事や家事で疲れている
(D)年をとったから (E)仲間がいないから (F)適当な場所や施設が近くにない
(G)ケガや病気のため (H)スポーツや運動に興味がない (I)お金がかかる
(J)特に理由はない (K)その他（ ）

問5 あなたは、スポーツクラブやチーム、愛好会などの
団体に所属していますか。
(1)している (2)していない

問6 この1年間に行ったスポーツや運動を選んでください。
【主なもの3つ以内】

- (1)ウォーキング (2)ジョギング〈ランニング〉 (3)室内運動器具で運動 (4)体操
(5)水泳 (6)ボウリング (7)エアロビ・ダンス〈踊り〉 (8)バレーボール (9)テニス
(10)卓球 (11)ゲートボール (12)グラウンドゴルフ (13)マレットゴルフ
(14)ゴルフ (15)筋トレ (16)ニュースポーツ〈ソフトバレー・インディアカ等〉
(17)バドミントン (18)ソフトボール (19)野球 (20)サッカー (21)剣道
(22)柔道 (23)空手 (24)バスケットボール (25)登山 (26)マラソン・駅伝
(27)陸上〈トラック・フィールド〉 (28)水中運動 (29)サイクリング
(30)スキー・スノボ (31)その他（ ）

問7 どれくらいの割合でスポーツや運動をしますか。

- (1)毎日 (2)週に3回以上 (3)週に1回くらい
(4)月に1~3回 (5)半年に1~3回 (6)年に1~3回

問8 問7で 5・6を選んだ方にお聞きします。

できれば週1回くらいはスポーツや運動を
したいと思われますか。

- (1)思う (2)思わない

→2を選んだ方は

問14へ

問9 問8で「思う」と答えた方にお聞きします。どのような条件が

整えば週1回くらいスポーツや運動をすることができますか。【主なもの2つ以内】

- (1)時間ができれば (2)近くに施設があれば (3)託児施設があれば
(4)参加したいスポーツ教室があれば (5)職場や自宅でできる簡単な運動があれば
(6)費用が安く済めば (7)その他()

問10 問8で「思う」と答えた方にお聞きします。週1回くらい

スポーツや運動をすることができるのはいつですか。

- (1)平日の昼間 (2)平日の夜間 (3)休日の昼間 (4)休日の夜間
(5)いつでも (6)その他()

【主なもの2つ以内】

問11 問8で「思う」と答えた方にお聞きします。週1回くらい

スポーツや運動をどのように行いたいですか。

- (1)自分1人で (2)家族と (3)職場の同僚や仲間と (4)同じ地域の人と
(5)クラブや同好会に加入して (6)その他()

【主なもの2つ以内】

問12 問8で「思う」と答えた方にお聞きします。

関心、今後行ってみたいスポーツや運動を選んでください。

- 【主なもの3つ以内】
(1)ウォーキング (2)ジョギング〈ランニング〉 (3)室内運動器具で運動 (4)体操
(5)水泳 (6)ボウリング (7)エアロビ・ダンス〈踊り〉 (8)バレーボール (9)テニス
(10)卓球 (11)ゲートボール (12)グラウンドゴルフ (13)マレットゴルフ
(14)ゴルフ (15)筋トレ (16)ニュースポーツ〈ソフトバレー・インディアカ等〉
(17)バドミントン (18)ソフトボール (19)野球 (20)サッカー (21)剣道
(22)柔道 (23)空手 (24)バスケットボール (25)登山 (26)マラソン・駅伝
(27)陸上〈トラック・フィールド〉 (28)水中運動 (29)サイクリング
(30)スキー・スノボ (31)その他()

問13 問8で「思う」と答えた方にお聞きします。

スポーツや運動をやってみたいと思う理由は何ですか。

- (1)健康・体力づくりのため (2)楽しみ・気晴らしのため
(3)運動不足解消のため (4)美容のため (5)友人・仲間との交流
(6)競技のため (7)その他()

【主なもの2つ以内】

問14 市内で観戦するなら、どんなスポーツ観戦を望んでいますか。

--	--	--

【主なもの3つ以内】

- (1)野球 (2)サッカー (3)バレーボール (4)テニス (5)卓球 (6)レスリング
(7)エアロビ・ダンス (8)柔道 (9)剣道 (10)空手 (11)相撲 (12)ゴルフ
(13)マラソン・駅伝 (14)自転車競技 (15)バドミントン (16)バスケットボール
(17)陸上<トラック・フィールド> (18)ソフトボール (19)体操
(20)その他 ()

問15 市のスポーツ施設や施設数は、他市に比べ充実していると思われませんか。

--

- (1)充実している (2)まあ充実している (3)していない (4)どちらともいえない
*その理由 ()

問16 市のスポーツ施設の使用料についてどう思われますか。

--

* (例) サンライフ中津川体育室：全面1時間 1,360円

(例) 中津川公園テニスコート：1面1時間 420円

- (1)適当である (2)高い (3)安い (4)分からない

問17 市のスポーツ施設の使用料の減免制度についてどう思われますか。

--

*市の付属機関、学校、消防団、市の設置する委員会や中学生以下の子どもの団体が使用する場合や体育協会及び加盟団体が主催する行事等は全額減免を行っています。

- (1)現行が適当である (2)内容により減免は必要 (3)受益者負担の原則で負担すべき
(4)どちらともいえない (5)分からない

問18 運動やスポーツを行うにあたって、どのようなスポーツ指導者が必要だと思われますか。

--	--

【主なもの2つ以内】

- (1)スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人
(2)健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人
(3)障がい者や高齢者へのスポーツ指導ができる人
(4)競技力向上のための高度な技術指導ができる人
(5)年間を通して定期的に指導ができる人
(6)いろいろなニュースポーツ(ソフトバレー・インディアカ等)の指導ができる人
(7)応急処置などの資格をもっている人
(8)その他 ()

問19 市が行うスポーツに関する情報提供に何を望みますか。

--	--

【主なもの2つ以内】

- (1)健康や体力の増進に関するもの (2)施設の紹介、利用方法
(3)スポーツ教室や行事の紹介、申込み方法 (4)スポーツイベント、大会の紹介
(5)スポーツ指導者の紹介 (6)市内で活躍するスポーツ選手紹介
(7)特に何も望まない (8)その他 ()

問20 市内にある「総合型地域スポーツクラブ」について知っていますか。

--

- (1)知っている (2)なんとなく知っている (3)聞いたことがある (4)知らない

問21 あなたは、総合型地域スポーツクラブ（身近な公共施設や地域の学校施設などを拠点として、地域住民らで運営され、多世代・多種目・多志向による活動ができるクラブ）に参加したいと思われますか。

- (1)参加したい (2)参加してもよい (3)あまり参加したいと思わない
(4)参加したくない (5)分からない

問22 2020東京オリンピックの開催に向けて、どんな取り組みを望みますか。

- (1)選手強化支援 (2)オリンピックキャンプ地の誘致 (3)オリンピック観戦
(4)パブリックビューイング (5)特になし (6)その他（ ）

問23 市のスポーツ振興に対して何を望みますか。

- (1)健康づくりや体力づくりに重点をおいたスポーツ振興 【主なもの2つ以内】
(2)年齢・体力・技術に応じたスポーツ教室やスポーツ行事の充実
(3)子どもの体力向上 (4)スポーツ指導者の育成 (5)スポーツ施設の整備・充実
(6)レベルの高いスポーツイベントの誘致・開催 (7)競技力の向上
(8)全国・世界に通用する選手の育成 (9)スポーツボランティア体制の整備
(10)障がい者スポーツの振興 (11)特に何も望まない (12)その他（ ）

問24 今後、市で特に整備してほしいスポーツ施設があれば選んで下さい。

【主なもの2つ以内】

- (1)ジョギング〈ランニング〉コース (2)野球 (3)サッカー (4)フットサル場
(5)武道場 (6)プール (7)テニスコート (8)屋内トレーニング施設 (9)卓球場
(10)マレットゴルフ (11)特になし (12)その他（ ）

問25 どのようなスポーツ都市像を望みますか。

【主なもの2つ以内】

- (1)誰もがスポーツに親しみ、スポーツをとおして健康づくり、まちづくりを推進するまち
(2)スポーツ施設の充実しているまち
(3)県内規模、全国規模のハイレベルなスポーツ大会を多く開催するまち
(4)日本を代表するような競技力を持つ団体や選手の育成に熱心なまち
(5)特に何も望まない (6)その他（ ）

問26 市のスポーツ行政にご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

中津川市スポーツ推進計画

発行日 平成 27 年 3 月
編集・発行 中津川市文化スポーツ部生涯学習スポーツ課
〒508-0032 岐阜県中津川市栄町 1-1 にぎわいプラザ 4 階
TEL 0573-66-1111 (代表) 内線 4302
FAX 0573-65-5795
MAIL shogai-sp@city.nakatsugawa.lg.jp

